

Space Design _1

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	インテリアデザインA	浅野真理	前期	午前	必修	演習/講義	42
■授業内容 実際の建物の実測から図面を描き、インテリア計画を行う上で必要な空間を把握する。 身の回りの動作寸法を理解して、テーマに基づいた空間のデザインを行う。 各自の個室を対象とし、テーマの設定をし、インテリア計画を行い、プレゼンテーションボードを作成する。							
■到達目標 身近な最小限の空間デザインを行うことで、人や物と空間の関係を習得する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/16	火	ガイダンス	インテリアデザインとは	13		
2	4/23	火	教室・トイレの実測	実測の方法を学ぶ	13		
3	4/30	火	教室を図面化する	縮尺を理解し平面・展開スケッチを描く	13		
4	5/7	火	〃	〃	13		
5	5/14	火	〃	〃	13		
6	5/21	火	〃	図面から教室の模型を作る	13		
7	5/28	火	〃	図面から教室の模型を作る	13		
8	6/4	火	個室のインテリア計画	個室のインテリア計画 コンセプト作成	13		
9	6/11	火	〃	個室のインテリア計画 レイアウト検討	13		
10	6/18	火	〃	個室のインテリア計画 図面作成	13		
11	6/25	火	〃	個室のインテリア計画 図面作成	13		
12	7/2	火	〃	個室のインテリア計画 図面作成	13		
13	7/9	火	〃	個室のインテリア計画 プレゼンボード作成	13		
14	7/23	火	〃	個室のインテリア計画 プレゼンボード作成, プレゼン	13		
■履修上の注意事項 出席し、提出期限に必ず課題を提出する事。 実測結果、配布資料、収集資料、写真資料などはファイリングまたは、デジタルデータとして保存すること。							
■評価方法 課題作品：デザイン力(40)、計画・企画力(40)、技術力・プレゼンテーション力(20) 授業態度、出席、積極性も含めて総合的に評価。							
■教科書、教材 必要に応じ配布するコピーをファイリングして教材とする。							
■授業時間以外の学習 日常生活で経験する空間を『意識して観察』する。使いやすい寸法を体で覚える。							
■教員紹介 設計事務所にて住宅の設計・インテリア計画の実務作業を行っている。実務に必要な設計・デザインの技術を指導。 資格：インテリアコーディネーター							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	インテリアデザインA	浅野真理	後期前半	午前	必修	演習/講義	42
■授業内容 生活空間として、機能的で快適な空間を計画する基本知識を学ぶ。 企業との連携授業としてショールームでの商品説明を受け、課題制作に活かす。							
■到達目標 施主のライフスタイル、要望に合わせた機能を備えた快適な空間計画の方法を学ぶ。 インテリア関連商品の知識と機能的な配置計画、コーディネート方法を習得する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/13	金	ガイダンス・インテリア材料	インテリアデザインとは、内装材仕上げ材を学ぶ	13		
2	9/20	金	キッチン1	動線、配置計画、設備計画	13		
3	9/27	金	キッチン2	動線、配置計画、設備計画	13		
4	10/4	金	キッチン3	動線、配置計画、設備計画	13		
5	10/11	金	キッチン4	動線、配置計画、設備計画	13		
6	10/25	金	リビング・ダイニング1	家族のあり方、接客、動線、配置計画、照明計画、家具	13		
7	11/8	金	リビング・ダイニング2	家族のあり方、接客、動線、配置計画、照明計画、家具	13		
8	11/15	金	リビング・ダイニング3	家族のあり方、接客、動線、配置計画、照明計画、家具	13		
9	11/22	金	リビング・ダイニング4	家族のあり方、接客、動線、配置計画、照明計画、家具	13		
10	11/29	金	ショールーム見学	商品の説明を受け、課題制作に活用(企業連携授業(株)プシ)	13		
11	12/6	金	個室1	ライフスタイル、動線、配置計画	13		
12	12/13	金	個室2	ライフスタイル、動線、配置計画	13		
13	12/20	金	水回り1	トイレ、洗面、浴室の計画	13		
14	1/10	金	水回り2	トイレ、洗面、浴室の計画	13		
■履修上の注意事項 出席し、提出期限に必ず課題を提出する事。 「模型の授業で制作するリビング・ダイニングのインテリア模型」はインテリアデザインAの授業と連携して実施。 コンペに参加する場合は授業項目の順序を変更する場合がある。							
■評価方法 課題作品：デザイン力(40)、計画・企画力(40)、技術力・プレゼンテーション力(20) 授業態度、出席、積極性も含めて総合的に評価。							
■教科書、教材 必要に応じ配布するコピーをファイリングして教材とする。							
■授業時間以外の学習 日常生活で経験する空間を『意識して観察』し、快適な広さの感覚を覚える。							
■教員紹介 設計事務所住宅の設計・インテリア計画の実務作業を行っている。実務に必要な設計・デザインの技術を指導。 資格：インテリアコーディネーター							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
1年	住宅デザイン A	清水裕子	後期前半	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容 課題「私の家」基本計画</p> <p>■到達目標 「自分の家」の理想イメージを認識し、空間として構成する。それを図面化できるようにスケッチとしてまとめる。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/12</td> <td>木</td> <td>ガイダンス</td> <td>授業説明、課題の説明</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/24</td> <td>火</td> <td>基本構想</td> <td>コンセプトの作成</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/30</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>ゾーニングの考え方</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/7</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>空間構成の方法1</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/21</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>空間構成の方法2</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/28</td> <td>月</td> <td>基本計画</td> <td>配置、平面スケッチの作成1</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/11</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>配置、平面スケッチの作成2</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/18</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>平面スケッチの作成1</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/25</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>平面スケッチの作成2</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/2</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>断面スケッチの作成1</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/9</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>断面スケッチの作成2</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/16</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>立面スケッチの作成1</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/23</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>立面スケッチの作成2</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/9</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>スタディ模型の作成(全体構成)</td> <td>13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/12	木	ガイダンス	授業説明、課題の説明	13		2	9/24	火	基本構想	コンセプトの作成	13		3	9/30	月	〃	ゾーニングの考え方	13		4	10/7	月	〃	空間構成の方法1	13		5	10/21	月	〃	空間構成の方法2	13		6	10/28	月	基本計画	配置、平面スケッチの作成1	13		7	11/11	月	〃	配置、平面スケッチの作成2	13		8	11/18	月	〃	平面スケッチの作成1	13		9	11/25	月	〃	平面スケッチの作成2	13		10	12/2	月	〃	断面スケッチの作成1	13		11	12/9	月	〃	断面スケッチの作成2	13		12	12/16	月	〃	立面スケッチの作成1	13		13	12/23	月	〃	立面スケッチの作成2	13		14	1/9	木	〃	スタディ模型の作成(全体構成)	13	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/12	木	ガイダンス	授業説明、課題の説明	13																																																																																																											
2	9/24	火	基本構想	コンセプトの作成	13																																																																																																											
3	9/30	月	〃	ゾーニングの考え方	13																																																																																																											
4	10/7	月	〃	空間構成の方法1	13																																																																																																											
5	10/21	月	〃	空間構成の方法2	13																																																																																																											
6	10/28	月	基本計画	配置、平面スケッチの作成1	13																																																																																																											
7	11/11	月	〃	配置、平面スケッチの作成2	13																																																																																																											
8	11/18	月	〃	平面スケッチの作成1	13																																																																																																											
9	11/25	月	〃	平面スケッチの作成2	13																																																																																																											
10	12/2	月	〃	断面スケッチの作成1	13																																																																																																											
11	12/9	月	〃	断面スケッチの作成2	13																																																																																																											
12	12/16	月	〃	立面スケッチの作成1	13																																																																																																											
13	12/23	月	〃	立面スケッチの作成2	13																																																																																																											
14	1/9	木	〃	スタディ模型の作成(全体構成)	13																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項 スペースデザインでは自分の空間認識がとても重要であることを理解する。 近代、現代建築の中で高く評価されている住宅を研究してみる。 日本や世界の民家、集落を調べてみる。</p> <p>■評価方法 独創性、構成力、空間認識、デザイン力を評価基準とする。</p> <p>■教科書、教材 住空間計画学(学芸出版社)</p> <p>■授業時間以外の学習 評価されている建築家の作品を、独自の視点で分析してみる。</p> <p>■教員紹介 一級建築士、実務経験20年</p> <p>■その他 なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	建築基礎製図	河 浩介	前期	午後	必修	実技/講義	42
■授業内容 木造住宅の各種図面をトレースする事で、建築の構成、構造、材料を理解する。							
■到達目標 三次元の空間を二次元の図面で正確に表現でき、二次元の図面から三次元空間を読み取る力を修得する。 他者に正確に伝達する為の表現力を修得する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/17	水	図面の仕組み	図面の意義、線・文字の練習	13		
2	4/24	水	木造住宅 配置図	〃	13		
3	5/1	水	木造住宅 平面図	〃	13		
4	5/8	水	木造住宅 平面図	〃	13		
5	5/15	水	木造住宅 平面図	〃	13		
6	5/22	水	木造住宅 断面図	〃	13		
7	5/29	水	木造住宅 立面図	〃	13		
8	6/5	水	木造住宅 立面図	〃	13		
9	6/12	水	模型製作	書いた立面図から立体を起こす	13		
10	6/19	水	自身の一人住まい	覚えたルールの実践	13		
11	6/26	水	自身の一人住まい	〃	13		
12	7/3	水	木造住宅棒矩計図1/20	描かれた対象の理解	13		
13	7/10	水	木造住宅棒矩計図1/20	〃	13		
14	7/17	水	木造住宅棒矩計図1/20	〃	13		
■履修上の注意事項 なし。							
■評価方法 提出物と出席などで総合的に評価。							
■教科書、教材 逐次配布する資料と手本							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 一級建築士事務所自営							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
1年	建築製図A	河 浩介	後期前半	午後	必修	実技/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容 建築の構成, 計画, 構造, 材料を理解し建築製図を手描きで描く。</p> <p>■到達目標 より精密に他者に伝達する為の高度な製図方法を習得することと、自ら考えて製図する。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/18</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 矩計図1/40</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/25</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 矩計図1/40</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/2</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 矩計図1/40</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/9</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 矩計図1/40</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/16</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 矩計図1/40</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/23</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 平面詳細図1/50</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/30</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 平面詳細図1/50</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/6</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 平面詳細図1/50</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/13</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 平面詳細図1/50</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11/20</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 平面詳細図1/50</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>11/27</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 展開図</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/4</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 展開図</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/11</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 展開図</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>12/18</td> <td>水</td> <td>模範図面の手書きトレース</td> <td>木造住宅 展開図</td> <td>13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/18	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13		2	9/25	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13		3	10/2	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13		4	10/9	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13		5	10/16	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13		6	10/23	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13		7	10/30	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13		8	11/6	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13		9	11/13	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13		10	11/20	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13		11	11/27	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 展開図	13		12	12/4	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 展開図	13		13	12/11	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 展開図	13		14	12/18	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 展開図	13	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/18	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13																																																																																																											
2	9/25	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13																																																																																																											
3	10/2	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13																																																																																																											
4	10/9	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13																																																																																																											
5	10/16	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 矩計図1/40	13																																																																																																											
6	10/23	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13																																																																																																											
7	10/30	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13																																																																																																											
8	11/6	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13																																																																																																											
9	11/13	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13																																																																																																											
10	11/20	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 平面詳細図1/50	13																																																																																																											
11	11/27	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 展開図	13																																																																																																											
12	12/4	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 展開図	13																																																																																																											
13	12/11	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 展開図	13																																																																																																											
14	12/18	水	模範図面の手書きトレース	木造住宅 展開図	13																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項 2級建築士の指定科目。</p> <p>■評価方法 成果図面と出席などで総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材 製図の教科書、その他配布資料。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介 一級建築士事務所自営</p> <p>■その他 なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	2DCAD	河 浩介	後期前半	午前	必修	演習/講義	42
■授業内容 CADの環境設定から基本操作を学び、製図、プレゼンテーションにまでつなげて行きます。							
■到達目標 二次元CADの基本的なツール・コマンドを理解し実際に使えるようになること。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/18	水	基本構成	画面の説明、メニューバー、ツール、パレットの内容	9		
2	9/25	水	基本操作	画面操作、線と図形の書き方(ダイアログとツール)、用紙単位設定	9		
3	10/2	水	基本操作	線と図形の属性・データと編集(結合・移動・複製・延長)	9		
4	10/9	水	基本操作	スナップの種類と設定	9		
5	10/16	水	基本操作	線分と四角形、円、円弧	9		
6	10/23	水	基本操作	図形の編集(キルビメーター・フィレット・トリム・消しゴム)	9		
7	10/30	水	基本操作	図形の編集(配列複製・回転・ミラー反転)	9		
8	11/6	水	基本操作	文字と寸法(オフセット・寸法線の設定)、縮尺	9		
9	11/13	水	基本操作	面情報の前後、張合わせと切欠き、線分に分解、面の生成	9		
10	11/20	水	演習	グループとシンボル、レイヤとクラス	9		
11	11/27	水	演習	窓廻り詳細図	9		
12	12/4	水	演習	壁と窓	9		
13	12/11	水	基本操作	平面図(写真やデータの取り込み、取り出し)	9		
14	12/18	水	演習	線の太さ、破線の間隔、図形の整列、図形選択マクロ	9		
■履修上の注意事項 手書きと同じ製図の基本(順番や注意点)を理解すること。 2級建築士の指定科目。							
■評価方法 単位の設定やスナップで正確な情報を操作出来るか、効率の良いツールやコマンドが選択出来るか。 成果図面と出席などで総合的に評価。							
■教科書、教材 製図の教科書、その他配布資料。							
■授業時間以外の学習							
■教員紹介 一級建築士事務所自営							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	住宅概論	清水裕子	前期	午前	必修	演習/講義	42
■授業内容 建築設計の基礎となる住宅について学び、空間デザイン学習への足がかりとする。 住宅は個人の資産であるが、公共の資産でもある。個から全体を考えられる視点を学ぶ。							
■到達目標 住宅設計の基本的な知識を身につけ、空間デザイン学習の基礎とする。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	形と寸法の関係	尺度としての人体、動作寸法を身につける	13		
2	4/19	金	風土と住まい	住まいの歴史・世界の住まい	13		
3	4/26	金	高齢者/動作空間	高齢者・障害者に配慮した住まいと動作空間について	13		
4	5/10	金	設備・機器	設備と設備機器について	13		
5	5/17	金	エネルギー問題	室内環境の計画について	13		
6	5/24	金	エネルギー問題	省エネ住宅の体験(企業連携授業_LIXIL)	13		職業実践課程
7	6/7	金	エネルギー問題	省エネ住宅の体験(企業連携授業_LIXIL)	13		職業実践課程
8	6/14	金	現代のライフスタイルと住まい	暮らしと住まいのかたち、ライフサイクルについて	13		
9	6/21	金	江戸の住まい	都市住居の原点(深川江戸資料館見学)	13		見学
10	6/28	金	住まいから都市へ	戸建て住宅、集合住宅について	13		
11	7/5	金	住まいの構法	構法の種類	13		
12	7/12	金	企画から竣工まで	施工現場の見学	13		見学
13	7/19	金	住宅のあるべき形ディベートⅠ	ディスカッション	13		
14	7/24	水	住宅のあるべき形ディベートⅡ	ディスカッション	13		
■履修上の注意事項 2級建築士指定科目							
■評価方法 毎時間のミニテスト、レポートの提出、及び授業態度などで総合的に評価。							
■教科書、教材 住まいとインテリアデザイン(住まいとインテリアデザイン研究会) あたらしい家づくりの教科書(新建sinbunnsya)、各時間配布資料。							
■授業時間以外の学習 教科書を読む。							
■教員紹介 一級建築士、実務経験20年							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	建築パース	篠原一郎	後期前半	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 イメージした空間や形をパースで描く。基本ルールから上手に早く描くコツを学ぶ。							
■到達目標 パースの作図方法を理解し、イメージした空間や形を表現できる。 空間を思考する為に必要な、3次元と2次元が行き来できる概念を養う。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	授業の目標・内容説明 前期復習課題「空間の模写」	資料をもとに着彩模写(住空間や商空間など)	13		
2	10/1	火	''	''	13		
3	10/8	火	''	'' (データ化)	13		
4	10/15	火	パース演習① 1点透視	室内パースにおける1点透視図について	13		
5	10/22	火	''	「リビング」パース画の作図	13		
6	10/29	火	''	'' (グリーンのトレース)	13		
7	11/5	火	パース演習② 2点透視	室内パースにおける2点透視図について	13		
8	11/12	火	''	「寝室」パース画の作図	13		
9	11/19	火	パース演習①②の着彩	パース演習の「リビング」「寝室」「グリーン」まとめて着彩	13		
10	11/26	火	''	''	13		
11	12/3	火	''	'' (データ化)	13		
12	12/10	火	「私の家」プランニングスケッチ	「私の家」のプランニングとして、スケッチパースを手早く描く	13		
13	12/17	火	''	''	13		
14	12/24	火	''	'' (データ化/A3用紙にまとめる)	13		
■履修上の注意事項 制作準備は最低限行っておくこと。提出期限は厳守。							
■評価方法 提出課題作品ごとに授業時間や内容によって比率化し、100点満点に換算します。 評価項目 = 課題作品・宿題提出物・授業姿勢・出席							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習 授業では指導、制作、講評が中心なので、授業外でアイデアや構想をしっかり練る。 身近な空間やイメージした空間をスケッチするクセをつける。							
■教員紹介 中学・高等学校教諭一種免許状(美術・工芸)							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	色彩A	榎 芳栄	前期	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 テキスト、配布資料、配色カードを用いて、色彩検定3級程度の色彩の基礎を理解する。 マンセル表色系、XYZ表色系、RGB表色系、色彩に関する規格については色彩検定UC級範囲も含む。 理論を実践に繋がられるように、手を動かしながら考える演習を取り入れる。							
■到達目標 色彩の基礎知識と配色の根拠となる理論を理解し、スペースデザインに活用することができる。 色彩検定3級合格。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/16	火	ガイダンス:色の表示1	色彩検定概要、折り紙色相環の制作 / 色の三属性・等色相面・色立体	13	検定申込 4/1~5/16	
2	4/23	火	色の表示2	PCGS・トーン記号と三属性での表示方法 / 補色残像の実験	13		
3	4/30	火	色彩心理1	色の心理的効果(インテリア含む) / 配色イメージ、色の連想ゲーム	13		
4	5/7	火	色彩心理2_慣用色名	色の視覚効果(インテリア含む) / 慣用色名・系統色名・マンセル値	13		
5	5/14	火	色彩調和1	色相を手がかりにした配色 / カラーカード演習	13		
6	5/21	火	色彩調和2	トーンを手がかりにした配色 / カラーカード演習	13		
7	5/28	火	光と色	光の性質・眼の構造・照明と色の見え方 / 簡易分光器の制作	13		
8	6/4	火	混色	加法混色と減法混色と回転混色 / 混色の体験	13		
9	6/11	火	検定直前対策1	総復習・項目別出題傾向・模擬問題・答え合わせ・解説・質疑応答	13		
10	6/18	火	検定直前対策2	総復習・項目別出題傾向・模擬問題・答え合わせ・解説・質疑応答	13	色彩検定 6/23	
11	6/25	火	表色系1:インテリアの色彩	マンセル表色系 / インテリアの色彩分析の体験	13		
12	7/2	火	表色系2	XYZ表色系・RGB表色系 / 回転混色の制作	13		
13	7/9	火	JISと色彩	色彩に関する規格 / 色名演習	13		
14	7/23	火	色彩の最新動向	スペースデザインと色彩 / カラーコーディネーションと色彩演習	13		
■履修上の注意事項 授業に必要なテキスト・教材を必ず持ってくること。							
■評価方法 色彩検定の結果・授業態度(取り組み姿勢)・課題提出・出席状況などにより評価する。							
■教科書、教材 教科書:色彩検定公式テキスト3級編 教材:日本色研新配色カード199b・授業で配布する資料・模擬問題・のり・はさみ・絵の具(CMYK+BK/W)・折り紙 *毎回プロジェクターを使用、PCを持参し色を確認しながら受講することが望ましい・ホワイトボード・PC(Powerpoint)							
■授業時間以外の学習 暗記が必要な項目は、授業時間外の自習を心がける。							
■教員紹介 日本色彩学会色彩教材研究会幹事 資格:色彩検定協会色彩検定1級 / 全国美術デザイン教育振興会COLOR MASTER 色彩士検定1級 東京商工会議所検定試験カラーコーディネーター1級(環境色彩) 日本ファッション教育振興協会ファッション色彩能力検定1級 / 二級建築士 理論の学習と演習を組み合わせ授業を行います。							
■その他 色はとても身近な存在です。色を味方につけましょう。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	PC基礎	桐井英明	前期	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 PhotoshopとIllustratorの基本操作を通して、コンピュータでグラフィック制作に必要な基本操作、基礎知識を学びます。また、随時3年間課題制作等ができる様にコンピュータのセットアップを行いながら、専門用語等を紹介します。							
■到達目標 CG制作を行うために必要な基礎知識をアプリケーションの基本操作と共に習得する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/18	木	オリエンテーション	授業の概要、Mac OSの基本操作、コンピュータ環境の説明	9		
2	4/25	木	コンピュータの説明1	Googleアカウント・Adobeアカウント取得、データ管理(Time Machine)	9		
3	5/2	木	コンピュータの説明2	ハードウェア・アプリケーション、周辺機器類	9		
4	5/9	木	Photoshopの基本説明1	基本描画ツールを使用した演習(ドット絵)	9		
5	5/16	木	Photoshopの基本説明2	基本描画ツールを使用した演習(ドット絵)	9		
6	5/23	木	Illustratorの基本説明1	基本描画ツールを使用した演習(基本形体・塗り・線)	9		
7	6/6	木	Illustratorの基本説明2	基本描画ツールを使用した演習(グラデーション・パスファインダ)	9		
8	6/13	木	復習と演習のフィードバック1	授業・演習の復習	9		
9	6/20	木	Photoshopの基本説明3	基本加工ツールを使用した演習(画像補正・画像加工・合成)	9		
10	6/27	木	Photoshopの基本説明4	基本加工ツールを使用した演習(画像補正・画像加工・合成)	9		
11	7/4	木	Illustratorの基本説明3	基本描画ツールを使用した演習(選択ツール・ダイレクト選択ツール)	9		
12	7/11	木	Illustratorの基本説明4	基本描画ツールを使用した演習(パスファインダー・レイヤー)	9		
13	7/18	木	Illustratorの基本説明5	基本描画ツールを使用した演習(ペンツール)	9		
14	7/25	木	復習と演習のフィードバック2	授業・演習の復習	9		
■履修上の注意事項 学生持参用具 ノートPC一式・筆記用具・ノートを忘れないこと。							
■評価方法 授業態度、演習課題、出席率により、総合的に評価します。							
■教科書、教材 授業内でプリント・素材サンプルデータを配布します。							
■授業時間以外の学習 配布プリントやデータを参考にして、ソフトに触れて下さい。							
■教員紹介 山脇美術専門学校 専任教員							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
1年	インテリアデザイン史	山本真也	前期	午前	必修	演習/講義	24																																																																																																									
<p>■授業内容 家具デザインの時代変遷からスペースデザインを考える。世界各地、様々な時代にデザインされ、使われて来た家具は現代の空間にも使われている。デザインすることの大切さ、50年、100年生きるデザインの素晴らしさを伝える。特徴の捉え方なども含め、過去から学ぶリ・デザインも学ぶ。</p> <p>■到達目標 中世の様式家具から近代のモダンデザイン、そして21世紀に新たに生まれた家具までその時代背景とデザインの変遷を理解する。個々の家具の意匠的特徴と、空間デザインとの関係を把握し、今後のデザインに生かす。ショールームで実際の家具に触れて質感、価格などを把握する。</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/10</td> <td>水</td> <td>優れた家具の条件</td> <td>素材、仕上げ、機能、価格、デザインなど各側面からの検証</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>月</td> <td>家具デザイン史01</td> <td>古代エジプト、ギリシャ、ローマ様式家具、windsor,shaker,</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>月</td> <td>家具デザイン史02</td> <td>THONET、芸術デザイン運動～ バウハウス</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/13</td> <td>月</td> <td>家具デザイン史03</td> <td>北欧モダン、ミッドセンチュリー、イタリアンモダン</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/20</td> <td>月</td> <td>家具デザイン史04</td> <td>ジャパニーズモダン、現代名作家具とデザイナー</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/27</td> <td>月</td> <td>家具ショールーム見学.01</td> <td>ショールームで実際にデザイン家具を視て触れる(青山エリア)</td> <td></td> <td>見学</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/3</td> <td>月</td> <td>家具ショールーム見学.02</td> <td>ショールームで実際にデザイン家具を視て触れる(六本木エリア)</td> <td></td> <td>見学</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/10</td> <td>月</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>テーマをもとにセレクトしたコーディネートプレゼンテーション</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項 課題、レポート提出期限を厳守。</p> <p>■評価方法 レポートの完成度、視点、表現内容を評価採点。 課題の家具コーディネーション内容を評価採点。 最終課題(50)、ミニ課題(20)、及び出席・授業態度(30)などで総合的に評価する。</p> <p>■教科書、教材 各授業ごと資料配布</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介 デザイン・施工を行う会社で3年間の実務を積み独立。 約10年間(株)資生堂と年間契約を結び国内外の店舗デザインなどを担当。 その後飛驒にも拠点を作り、家具ブランドの立ち上げやアパレル店舗のデザイン、プロダクトデザインを行う。</p> <p>■その他 なし。</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/10	水	優れた家具の条件	素材、仕上げ、機能、価格、デザインなど各側面からの検証	13		2	4/15	月	家具デザイン史01	古代エジプト、ギリシャ、ローマ様式家具、windsor,shaker,	13		3	4/22	月	家具デザイン史02	THONET、芸術デザイン運動～ バウハウス	13		4	5/13	月	家具デザイン史03	北欧モダン、ミッドセンチュリー、イタリアンモダン	13		5	5/20	月	家具デザイン史04	ジャパニーズモダン、現代名作家具とデザイナー	13		6	5/27	月	家具ショールーム見学.01	ショールームで実際にデザイン家具を視て触れる(青山エリア)		見学	7	6/3	月	家具ショールーム見学.02	ショールームで実際にデザイン家具を視て触れる(六本木エリア)		見学	8	6/10	月	プレゼンテーション	テーマをもとにセレクトしたコーディネートプレゼンテーション	13		9							10							11							12							13							14						
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/10	水	優れた家具の条件	素材、仕上げ、機能、価格、デザインなど各側面からの検証	13																																																																																																											
2	4/15	月	家具デザイン史01	古代エジプト、ギリシャ、ローマ様式家具、windsor,shaker,	13																																																																																																											
3	4/22	月	家具デザイン史02	THONET、芸術デザイン運動～ バウハウス	13																																																																																																											
4	5/13	月	家具デザイン史03	北欧モダン、ミッドセンチュリー、イタリアンモダン	13																																																																																																											
5	5/20	月	家具デザイン史04	ジャパニーズモダン、現代名作家具とデザイナー	13																																																																																																											
6	5/27	月	家具ショールーム見学.01	ショールームで実際にデザイン家具を視て触れる(青山エリア)		見学																																																																																																										
7	6/3	月	家具ショールーム見学.02	ショールームで実際にデザイン家具を視て触れる(六本木エリア)		見学																																																																																																										
8	6/10	月	プレゼンテーション	テーマをもとにセレクトしたコーディネートプレゼンテーション	13																																																																																																											
9																																																																																																																
10																																																																																																																
11																																																																																																																
12																																																																																																																
13																																																																																																																
14																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	インテリアコーディネート	福澤清子	前期	午前	必修	演習/講義	18
■授業内容 インテリアスタイルを理解すると同時に表現力をつける。							
■到達目標 インテリアスタイル、テイストを理解しコーディネート方法を習得する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	6/17	月	インテリアスタイルを考える①	イメージパターンとその特徴を考える	13		
2	6/24	月	インテリアスタイルを考える②	自分の好きなインテリアのコラージュを作る	13		
3	7/1	月	リビング計画	インテリアボードの作成/リビングのコーディネートを考える	13		
4	7/8	月	インテリア計画/ショールーム見学	ボードの作成に必要な資料を取り寄せる(リリカラへ見学)	13		
5	7/16	火	インテリア計画	インテリアボードの作成/床、壁、天井のコーディネートを考える	13		
6	7/22	月	ボードの作成	インテリアボードの作成・完成・プレゼン	13		
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
■履修上の注意事項 授業計画を立て課題を進める。							
■評価方法 課題作品: デザイン力(40)、計画・企画力(40)、プレゼンテーション力(20)を総合的に評価。							
■教科書、教材 必要に応じ配布するコピー インテリアのショールームを見学、資料を取り寄せ、ボードで使用。							
■授業時間以外の学習 インテリアショップに行き商品や流行のリサーチを行う。							
■教員紹介 山脇美術専門学校 スペースデザイン科専任教員 資格: 学芸員							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	模型	浅野真理	後期前半	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 図面を読み取り立体を作り上げる。 3次元でインテリア・建物のデザインを計画する。 図面だけでは理解できない立体や空間を把握するためのプレゼンツールとして模型作成の必要性を学ぶ。							
■到達目標 図面をもとに、身近な素材や道具を使って、エスキス用からプレゼン用の模型制作の技術を習得する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/12	木	オリエンテーション	模型プレゼンの事例紹介、スチレンボードの処理方法を習得する	13		
2	9/24	火	「LDのインテリア模型」	模型を使って立体的にレイアウトや開口部を考える	13		
3	9/30	月	家具・照明・内装材を選ぶ	家具、照明、内装材の写真はプレゼンボード用にデータとして保存	13		
4	10/7	月	床・壁・天井を制作	スチレンボードで床、壁を作成	13		
5	10/21	月	床・壁・天井の仕上を表現	洋紙やCADデータを用いて仕上材を表現する	13		
6	10/28	月	床・壁・天井の仕上を表現	〃	13		
7	11/11	月	家具を制作	家具のイメージを簡素化して制作	13		
8	11/18	月	家具を制作	〃	13		
9	11/25	月	家具を制作	〃	13		
10	12/2	月	撮影	プレゼンボード用の模型写真を撮影	13		
11	12/9	月	プレゼンボード作成	プレゼンボードを作成する	13		
12	12/16	月	プレゼンボード作成	〃	13		
13	12/23	月	「建築模型」の制作	平面図、断面図から立面図を考えて模型を作る	13		
14	1/9	木	〃	〃	13		
■履修上の注意事項 出席し、提出期限に必ず課題を提出する事。 課題に使用する使用材料や道具を準備する。 「LDのインテリア模型」はインテリアデザインAの授業と連携する。							
■評価方法 課題作品：図面理解力(30)、技術力(30)、プレゼンテーション力(40) 授業態度、出席、積極性も含めて総合的に評価。							
■教科書、教材 必要に応じ配布するコピー							
■授業時間以外の学習 他の授業でも模型を作り3次元でデザインを検討する。							
■教員紹介 設計事務所で住宅の設計・インテリア計画の実務作業を行っている。実務に必要な模型制作の技術を指導。 資格：インテリアコーディネーター							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
1年	発想演習	浅野真理	前期	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>デザインの発想に必要な、既存概念にとらわれない柔軟な考え方を、演習を通してトレーニングする。 言葉からイメージした空間や形を表現する。</p> <p>■到達目標</p> <p>既存概念にとらわれない自由な発想ができる。 同じ言葉から発想するデザインイメージの違いや幅の広さに気づき、 デザインを伝えるために言葉以外のツールの必要性を理解する。</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/18</td> <td>木</td> <td>言葉のイメージを考える</td> <td>言葉から言葉や形をイメージする</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/25</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/2</td> <td>木</td> <td>想像上の生物の為の空間を作る</td> <td>生命活動の特徴、どんな形なのか？名前を付ける</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/9</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>生きていく為の空間を作る-1</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/16</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>生きていく為の空間を作る-2</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/23</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>生きていく為の空間を作る-3</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/6</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>生きていく為の空間を作る-4</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/13</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>プレゼンテーションボードを作る</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/20</td> <td>木</td> <td>光の空間を考える</td> <td>光や風を取り込み方で異なった空間を計画する</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/27</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>光の取り込み方で、空間の快適性や楽しさを考える</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7/4</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/11</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/18</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/25</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>プレゼンテーションボードを作る</td> <td>13</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項</p> <p>出席し、提出期限に必ず課題を提出する事。</p> <p>■評価方法</p> <p>課題作品: デザイン力・独創性(60)、技術力(10)、プレゼンテーション力(30) 授業態度、出席、積極性も含めて総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>必要に応じ配布するコピー。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>自分がいつも見ている空間や風景、商品などを制作者の視点など違った視点で観察することを心がける。 言葉から形や空間をイメージしたり、空間や形から言葉をイメージする。イメージする言葉や形には個人差があることを知る。</p> <p>■教員紹介</p> <p>設計事務所住宅の設計・インテリア計画の実務作業を行っている。実務に必要な自由に考えてアイデアを生み出す方法を指導。 資格: インテリアコーディネーター</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/18	木	言葉のイメージを考える	言葉から言葉や形をイメージする	13		2	4/25	木	〃	〃	13		3	5/2	木	想像上の生物の為の空間を作る	生命活動の特徴、どんな形なのか？名前を付ける	13		4	5/9	木	〃	生きていく為の空間を作る-1	13		5	5/16	木	〃	生きていく為の空間を作る-2	13		6	5/23	木	〃	生きていく為の空間を作る-3	13		7	6/6	木	〃	生きていく為の空間を作る-4	13		8	6/13	木	〃	プレゼンテーションボードを作る	13		9	6/20	木	光の空間を考える	光や風を取り込み方で異なった空間を計画する	13		10	6/27	木	〃	光の取り込み方で、空間の快適性や楽しさを考える	13		11	7/4	木	〃	〃	13		12	7/11	木	〃	〃	13		13	7/18	木	〃	〃	13		14	7/25	木	〃	プレゼンテーションボードを作る	13	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/18	木	言葉のイメージを考える	言葉から言葉や形をイメージする	13																																																																																																											
2	4/25	木	〃	〃	13																																																																																																											
3	5/2	木	想像上の生物の為の空間を作る	生命活動の特徴、どんな形なのか？名前を付ける	13																																																																																																											
4	5/9	木	〃	生きていく為の空間を作る-1	13																																																																																																											
5	5/16	木	〃	生きていく為の空間を作る-2	13																																																																																																											
6	5/23	木	〃	生きていく為の空間を作る-3	13																																																																																																											
7	6/6	木	〃	生きていく為の空間を作る-4	13																																																																																																											
8	6/13	木	〃	プレゼンテーションボードを作る	13																																																																																																											
9	6/20	木	光の空間を考える	光や風を取り込み方で異なった空間を計画する	13																																																																																																											
10	6/27	木	〃	光の取り込み方で、空間の快適性や楽しさを考える	13																																																																																																											
11	7/4	木	〃	〃	13																																																																																																											
12	7/11	木	〃	〃	13																																																																																																											
13	7/18	木	〃	〃	13																																																																																																											
14	7/25	木	〃	プレゼンテーションボードを作る	13																																																																																																											

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	デッサン・ドローイング	篠原一郎	前期	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 デザインに必要な描写表現の基礎を学ぶ。トレーニングを中心に、トレーニングをアウトプットする演習課題を制作。							
■到達目標 描くことを通して、観察力、造形力を養う。 画材の特性を理解し、立体及び質感表現を修得する。 イメージした立体や空間を描く。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/10	水	授業の目標・内容説明基礎トレーニング①	描写力の基礎トレーニング(鉛筆の基礎、幾何形体を描く)	13		
2	4/15	月	基礎トレーニング②	描写力の基礎トレーニング(立体表現・パースについて)	13		
3	4/22	月	基礎トレーニング③	描写力の基礎トレーニングまとめ(イメージした花器を描く)	13		
4	5/13	月	演習課題①平面構成(鉛筆)	基礎トレーニングの総まとめ「パースによる平面構成」	13		
5	5/20	月	〃	〃	13		
6	5/27	月	〃	〃	13		
7	6/3	月	〃	〃	13		
8	6/10	月	着彩のトレーニング	色鉛筆のトレーニング演習	13		
9	6/17	月	着彩のトレーニング	水彩絵のトレーニング演習	13		
10	6/24	月	演習課題②家具の模写	任意の資料(家具)を模写する	13		
11	7/1	月	〃	〃	13		
12	7/8	月	〃	〃	13		
13	7/16	火	演習課題③アウトプット課題	立体構成の連動(立方体を分割した形) / スケッチ演習	13		
14	7/22	月	〃	〃	13		
■履修上の注意事項 制作準備は最低限行っておくこと。提出期限は厳守。							
■評価方法 提出課題作品ごとに授業時間や内容によって比率化し、100点満点に換算します。 評価項目 = 課題作品・宿題提出物・授業姿勢・出席							
■教科書、教材							
■授業時間以外の学習 授業では指導、制作、講評が中心なので、授業外でアイデアや構想をしっかりと練る。							
■教員紹介 中学・高等学校教諭一種免許状(美術・工芸)							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	平面構成・立体構成	篠原一郎	前期	午前	必修	演習/実技	42
■授業内容 デザインの基礎となる造形感覚や構成力を養う。							
■到達目標 基本的な構成の要素を踏まえて、素材や技法をいかした美しい構成を表現する。また、効率的な作業方法を工夫する。構成から実施設計への考え方を理解する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/17	水	授業の目標・内容説明 課題説明	「平面から立体へ」	13		
2	4/24	水	立体構成①	〃	13		
3	5/1	水	〃	〃	13		
4	5/8	水	立体構成②	ケント紙によるイメージスタディー	13		
5	5/15	水	〃	〃	13		
6	5/22	水	〃	〃	13		
7	5/29	水	立体構成③	「積層・塊材による構成」	13		
8	6/5	水	〃	〃	13		
9	6/12	水	〃	〃	13		
10	6/19	水	〃	〃	13		
11	6/26	水	立体構成④	「線材による構成」	13		
12	7/3	水	〃	〃	13		
13	7/10	水	〃	〃	13		
14	7/17	水	〃	〃	13		
■履修上の注意事項 制作準備は最低限行っておくこと。提出期限は厳守。 遅刻や欠席をすると課題内容の理解や制作時間が削られます。不必要な遅刻・欠席は避けること。							
■評価方法 提出課題作品ごとに授業時間や内容によって比率化し、100点満点に換算します。 評価項目 = 課題作品(デザイン・構成力/40、技術力/20)・宿題提出物(20)・理解力(20) 授業姿勢・出席も含めて総合的に評価。							
■教科書、教材 教科書:なし、教材:支給。							
■授業時間以外の学習 基本的にはなし。提出期限に間に合わないと各自が判断した場合のみ。							
■教員紹介 ディスプレイデザイナー。展示会ブース装飾、イベント空間等のデザイン設計業務。 ビックサイト等で行われる展示会の企業ブースからアミューズメント施設のアトラクション空間まで数多くの商空間を手掛けている。							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	建築構造	今川聖英	後期前半	午前	必修	演習/講義	42
■授業内容 素材の持つ性能を講義・模型制作・破壊実験を通して理解する。							
■到達目標 素材の持つ性能を理解する。 架構を実現する為には、ジョイントの性能が決定づけることを理解する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	素材と形のガイダンス	素材に生じる力の種類と力の釣り合い	13		
2	10/1	火	構造種別の講義	素材による特徴と建築物を作る架構(基礎・骨組)の講義	13		
3	10/8	火	ペーパーストラクチャーのデザイン①	材料の強度を知る(ケント紙の強度・予備実験)	13		
4	10/15	火	ペーパーストラクチャーのデザイン②	架構に流れる力の講義、ペーパーストラクチャーの設計	13		
5	10/22	火	ペーパーストラクチャーのデザイン③	ペーパーストラクチャーの製作	13		
6	10/29	火	ペーパーストラクチャーのデザイン④	ペーパーストラクチャーの製作	13		
7	11/5	火	ペーパーストラクチャーのデザイン⑤	ペーパーストラクチャーの製作	13		
8	11/12	火	ペーパーストラクチャーのデザイン⑥	ペーパーストラクチャーの破壊実験/レポート作成	13		
9	11/19	火	パスタブリッジのデザイン①	パスタブリッジの設計	13		
10	11/26	火	パスタブリッジのデザイン②	パスタブリッジの設計	13		
11	12/3	火	パスタブリッジのデザイン③	パスタブリッジの制作	13		
12	12/10	火	パスタブリッジのデザイン④	パスタブリッジの制作	13		
13	12/17	火	パスタブリッジのデザイン⑤	パスタブリッジの制作	13		
14	12/24	火	パスタブリッジのデザイン⑥	パスタブリッジの破壊実験/レポート作成	13		
■履修上の注意事項 2級建築士指定科目							
■評価方法 製作物、レポート、出席状況を総合的に評価する。							
■教科書、教材 必要に応じて配布するコピー、A2ケント紙、パスタブリッジの材料(パスタなど)。							
■授業時間以外の学習 建築の構造を意識して普段目にする建物や建造物を見る。							
■教員紹介 構造設計一級建築士、国内で木造・RC造・鉄骨造他、ネット構造などの構造設計を行う。							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	PC表現基礎	堀口 武士	後期前半	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 IllustratorとPhotoshopを使用し、Illustratorではベジェ曲線を使って自由に描画ができるように、また、Photoshopでは画像の合成や補正などができるようにする。							
■到達目標 IllustratorとPhotoshopを使用し、それぞれのソフトの特徴を知る。 課題を通して自分のイメージとあった表現を製作する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/19	木	ガイダンス・前期PC基礎の確認	授業の流れと各ソフトの特徴	9		
2	9/26	木	Ⅲ 基本ツールでの演習課題	ピクトグラムの描写	9		
3	10/3	木	Ⅲ 基本ツールでの演習課題	ピクトグラムの描写	9		
4	10/10	木	Ⅲ 基本ツールでの演習課題	ピクトグラム完成・提出	9		
5	10/17	木	オフィス系ソフトの利用について	プレゼン資料・スケジュール表の作成方法等	9		
6	10/24	木	解像度の説明、計算・Ⅲとの連動	色変換、解像度の計算・最適化	9		
7	10/31	木	イラレとフォトショの機能について	機能・効果のつけ方(Tシャツデザインコンペ)	9		
8	11/7	木	イラレとフォトショの機能について	リンク機能と設定(Tシャツデザインコンペ)	9		
9	11/14	木	印刷、体裁調整について	確認、チェック(Tシャツデザインコンペ)	9		
10	11/21	木	イラレとフォトショ入稿データの仕方	データ変換・容量(Tシャツデザインコンペ)	9		
11	11/28	木	レイアウト(デザイン)課題	イラレとフォトショの連動課題	9		
12	12/5	木	レイアウト(デザイン)課題	イラレとフォトショの連動課題	9		
13	12/12	木	レイアウト(デザイン)課題	イラレとフォトショの連動課題	9		
14	12/19	木	復習と課題のフィードバック	授業、課題の復習	9		
■履修上の注意事項 遅刻・欠席をしないこと。また、テキストが無いため、各自ノートにまとめること。							
■評価方法 出席率、授業態度、演習課題・コンペ課題(表現力、技術力)等により、総合的に評価します。							
■教科書、教材 課題のテンプレートをClassroomを使用し、データで配布							
■授業時間以外の学習 時間があれば、ソフトに触る。他課題をイラレ・フォトショを利用。							
■教員紹介 株式会社大林デザインパートナーズにて提案書(入札やデザイン提案)、パンフレットの作成等に15年ほど携わっています。							
■その他 コンペや課題制作の進行状況に応じて追加課題を検討します。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	写真演習	鷹尾茂	後期前半	午前	必修	演習/講義	42
■授業内容 写真撮影の基礎に関する講義と演習、及自然光とライティングの理解。 様々なビジュアルイメージを形に出来るように、撮影と講評を重ねレベルアップを目指す。							
■到達目標 第一目標は、自分の作品をしっかりと写真で記録できること。 第二目標は、自分でカメラの設定やライティングセットが出来る事。 第三目標は、結果に対して良悪の判断と、出来上がりや全体像をイメージ出来ること。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/19	木	(撮影①)スマホカメラ使い方	携帯カメラで 自撮り+空間	7		
2	9/26	木	一眼デジカメ使い方①	AE・AFカメラの使い方 ・ PC取り込み	7		
3	10/3	木	(撮影②) 外光で立体	AE・AFで自分の立体作品を外光撮影	7	学内+公園	
4	10/10	木	画像調整・講評	フォトショップ簡単な調整 + 講評	7		
5	10/17	木	一眼デジカメ使い方②	Mモード・MF カメラの使い方	7		
6	10/24	木	(撮影③) 空間	(説明～撮影) 空間をテーマに 後楽園撮影	7	後楽園	
7	10/31	木	講評 ・ 使い方	講評 ・ ライティング機材使い方	7		
8	11/7	木	ライティング基礎	ライティング ・ 使い方と各種ライト	7		
9	11/14	木	(撮影④)立体作品	立体撮影	7		
10	11/21	木	ライティング	講評 ・ 模型のライティング	7		
11	11/28	木	(撮影⑤-1)自分模型	自分の模型撮影1回目	7		
12	12/5	木	(撮影⑤-2)自分模型	自分の模型撮影2回目	7		
13	12/12	木	(撮影⑥)高度な模型	先輩の模型撮影	7		
14	12/19	木	講評	講評3回分	7		
■履修上の注意事項 休まない事、特に機材の使い方の時は遅刻しないこと。							
■評価方法 (課題提出100%) 作品、(40%) 理解度、習熟度、(30%) 授業態度、積極性など、(20%) 発想、観察力、(10%)							
■教科書、教材 クラスルーム使用して、各資料や課題表配布。							
■授業時間以外の学習 観察すること。幅広く展覧会等を見る事。							
■教員紹介 雑誌、企業誌、広告など、人物ポートレイトの撮影を中心に活動してきました。 写真の存在感、内面や気持ちの表現を意識しながら被写体に向き合い、撮り続けています。							
■その他 (学生のPCに入れておいてもらいたいソフト) ・ アドビフォトショップ ・ アドビライトルーム この授業開始時まで (SDカード・32～62GB・クラス10) 以上を用意。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	レポートファイル制作・見学1	清水裕子	前期	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 展覧会などの見学、見学の事前学習、見学レポートの制作。 授業課題のまとめ。							
■到達目標 学校の施設を有意義に使い、各課題のレベルアップ、ポートフォリオの制作を行う。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容		教室	備考
1	4/12	金	各自の課題および見学、レポートの制作	・授業課題の制作		13	
2	4/19	金				13	
3	5/3	金				13	
4	5/10	金	消防訓練			13	
5	5/17	金	各自の課題および見学、レポートの制作			13	
6	5/31	金				13	
7	6/7	金				13	
8	6/14	金				13	
9	6/28	金				13	
10	7/5	金				13	
11	7/12	金				13	
12	7/26	金				13	午前
13	7/26	金				13	午後
14						各自の課題および見学、レポートの制作	13
■履修上の注意事項 見学などを行い、見学レポートを制作するが、レポートの正しい書き方を身に付ける。							
■評価方法 レポートの内容、レポートの提出期限、出席を総合的に評価。							
■教科書、教材 なし。							
■授業時間以外の学習 なし。							
■教員紹介 一級建築士、実務経験20年							
■その他 14コマ目は後期後半と授業入れ替え。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																														
1年	レポートファイル制作・見学1	清水裕子	後期前半	午後	必修	演習/実技	42																																																																														
<p>■授業内容</p> <p>展覧会などの見学、見学の事前学習、見学レポートの制作。 授業課題のまとめ。</p> <p>■到達目標</p> <p>学校の施設を有意義に使い各課題のレベルアップ、ポートフォリオの制作を行う。</p>																																																																																					
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/13</td> <td>金</td> <td rowspan="10">各自の課題および見学、レポートの制作</td> <td rowspan="10">・授業課題の制作</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/20</td> <td>金</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/4</td> <td>金</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/11</td> <td>金</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/18</td> <td>金</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11/1</td> <td>金</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/15</td> <td>金</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/29</td> <td>金</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/13</td> <td>金</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/20</td> <td>金</td> <td>大掃除</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>1/10</td> <td>金</td> <td>各自の課題および見学、レポートの制作</td> <td>13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">各自の課題および見学、レポートの制作</td> <td>13</td> <td rowspan="3">後期後半と授業入れ替え</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/13	金	各自の課題および見学、レポートの制作	・授業課題の制作	13		2	9/20	金	13		3	10/4	金	13		4	10/11	金	13		5	10/18	金	13		6	11/1	金	13		7	11/15	金	13		8	11/29	金	13		9	12/13	金	13		10	12/20	金	大掃除	13		11	1/10	金	各自の課題および見学、レポートの制作	13		12			各自の課題および見学、レポートの制作	13	後期後半と授業入れ替え	13		13	14		13
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																															
1	9/13	金	各自の課題および見学、レポートの制作	・授業課題の制作	13																																																																																
2	9/20	金			13																																																																																
3	10/4	金			13																																																																																
4	10/11	金			13																																																																																
5	10/18	金			13																																																																																
6	11/1	金			13																																																																																
7	11/15	金			13																																																																																
8	11/29	金			13																																																																																
9	12/13	金			13																																																																																
10	12/20	金			大掃除	13																																																																															
11	1/10	金	各自の課題および見学、レポートの制作	13																																																																																	
12			各自の課題および見学、レポートの制作	13	後期後半と授業入れ替え																																																																																
13		13																																																																																			
14		13																																																																																			
<p>■履修上の注意事項</p> <p>見学などを行い、見学レポートを制作するが、レポートの正しい書き方を身に付ける。</p> <p>■評価方法</p> <p>レポートの内容、レポートの提出期限、出席を総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>なし。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>なし。</p> <p>■教員紹介</p> <p>一級建築士、実務経験20年</p> <p>■その他</p> <p>12～14コマは後期後半と授業入れ替え。</p>																																																																																					

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
1年	進級制作1	複数講師	後期後半	午前・午後	必修	演習/実技	123
■授業内容 1年次に習得した技術知識の集大成として、進級制作を行う。 住宅デザインから引き継いで課題の設計デザインを行い、プレゼンテーションまで完成させる。							
■到達目標 1年次に習得した技術知識を総合的に活用し、計画からプレゼンテーションまでやり遂げる。							
■授業計画							
授業回数	時間数	授業項目	内容		教室	備考	
1 2	6	基本設計	・基本計画の確認及び修正		13	担当講師	
3 15	39	基本設計	・図面作成		13	担当講師	
16 33	54	プレゼンテーション	・模型・パース・ボードの作成		13	担当講師	
34 38	15	合評会	・作品のプレゼンテーション・講師による講評		ギャラリー	複数講師	
39 41	9	進級制作ブラッシュアップ	・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備		13	担当講師	
■履修上の注意事項 短期間に各専門の講師から集中して行う授業ですので、欠席しないように。							
■評価方法 提出作品のプレゼンテーションを合評会で発表し、担当した複数講師による採点を行う。							
■教科書、教材 なし。							
■授業時間以外の学習 建築の作品集・建築雑誌などを読み、発想力・プレゼンテーション力を高める。							
■教員紹介 複数講師により、他の授業の教員紹介に準ずる。							
■その他 なし。							

Space Design _2

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	インテリアデザインB	清水裕子	前期	午後	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>自分自身の生活スタイルをもとに与件をまとめ、生活スタイルを客観的に理解する。 様々な条件を解決させながら住空間を設計する。</p> <p>■到達目標</p> <p>クライアントの暮らし方を理解するために、自らの暮らし方を客観的に理解する。 与件を考慮し、クライアントの要望を読み取り、解決方法を考える。 設計デザインの意図を的確に伝える為のプレゼン方法をトレーニングする。</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/16</td> <td>火</td> <td>自分の暮らし方を考える</td> <td>課題の説明、与件を書く</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/23</td> <td>火</td> <td>クライアントの暮らしを考える</td> <td>クライアントの要望を確認し、話を聞き出す</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/30</td> <td>火</td> <td>住空間を計画する</td> <td>プランを考える</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/7</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>プランを考える、エスキス模型制作</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/14</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>プランを考える</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/21</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>家具、照明、内装材の選定</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/28</td> <td>火</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>プランの提案</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/4</td> <td>火</td> <td>住空間を計画する</td> <td>図面作成(平面図)</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/11</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/18</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>図面作成(展開図)</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/25</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/2</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>家具・照明・設備ボード作成</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/9</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>模型製作</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/23</td> <td>火</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>プレゼン</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項</p> <p>出席し、提出期限に必ず課題を提出する事。</p> <p>■評価方法</p> <p>課題作品: デザイン力(40)、計画・企画力(40)、技術力・プレゼンテーション力(20) 授業態度、出席、積極性も含めて総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>必要に応じ配布するコピー。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>家族やクラスメートとの会話する時に、相手の考え方や意見を聞き出すことを意識する。 まずは相手の考えや意見を素直に受け止め、多様な考え方があることを理解する。</p> <p>■教員紹介</p> <p>一級建築士、実務経験20年</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/16	火	自分の暮らし方を考える	課題の説明、与件を書く	12		2	4/23	火	クライアントの暮らしを考える	クライアントの要望を確認し、話を聞き出す	12		3	4/30	火	住空間を計画する	プランを考える	12		4	5/7	火	〃	プランを考える、エスキス模型制作	12		5	5/14	火	〃	プランを考える	12		6	5/21	火	〃	家具、照明、内装材の選定	12		7	5/28	火	プレゼンテーション	プランの提案	12		8	6/4	火	住空間を計画する	図面作成(平面図)	12		9	6/11	火	〃	〃	12		10	6/18	火	〃	図面作成(展開図)	12		11	6/25	火	〃	〃	12		12	7/2	火	〃	家具・照明・設備ボード作成	12		13	7/9	火	〃	模型製作	12		14	7/23	火	プレゼンテーション	プレゼン	12	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/16	火	自分の暮らし方を考える	課題の説明、与件を書く	12																																																																																																											
2	4/23	火	クライアントの暮らしを考える	クライアントの要望を確認し、話を聞き出す	12																																																																																																											
3	4/30	火	住空間を計画する	プランを考える	12																																																																																																											
4	5/7	火	〃	プランを考える、エスキス模型制作	12																																																																																																											
5	5/14	火	〃	プランを考える	12																																																																																																											
6	5/21	火	〃	家具、照明、内装材の選定	12																																																																																																											
7	5/28	火	プレゼンテーション	プランの提案	12																																																																																																											
8	6/4	火	住空間を計画する	図面作成(平面図)	12																																																																																																											
9	6/11	火	〃	〃	12																																																																																																											
10	6/18	火	〃	図面作成(展開図)	12																																																																																																											
11	6/25	火	〃	〃	12																																																																																																											
12	7/2	火	〃	家具・照明・設備ボード作成	12																																																																																																											
13	7/9	火	〃	模型製作	12																																																																																																											
14	7/23	火	プレゼンテーション	プレゼン	12																																																																																																											

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	デザイン演習	河 浩介	前期	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>設計条件を細分化し、その課題を短期間に仕上げることで問題解決能力の能力向上(スピード)を目指す。 課題により時間数は増減する。</p> <p>■到達目標</p> <p>情報収集の効率化、問題点の整理・解決能力の向上をはかり、関係性をデザインすることを学ぶ。 合わせてプレゼンテーション能力向上させる。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/16</td> <td>火</td> <td>寝室 クローゼット</td> <td>寝室に繋がるワードローブに求められる事</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/23</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>1日の行動、就寝起床の前後</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/30</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/7</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/14</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/21</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/28</td> <td>火</td> <td>作業と動作 料理</td> <td>食卓との関係まで</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/4</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/11</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/18</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/25</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/2</td> <td>火</td> <td>"</td> <td>"</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/9</td> <td>火</td> <td>日本の四季と太陽</td> <td>軒の深さやトップライトについて</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/23</td> <td>火</td> <td>集まりの広さ 団らん(家族)</td> <td>団らんとは何か、その物理的しつらえを学ぶ</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/16	火	寝室 クローゼット	寝室に繋がるワードローブに求められる事	12		2	4/23	火	"	1日の行動、就寝起床の前後	12		3	4/30	火	"	"	12		4	5/7	火	"	"	12		5	5/14	火	"	"	12		6	5/21	火	"	"	12		7	5/28	火	作業と動作 料理	食卓との関係まで	12		8	6/4	火	"	"	12		9	6/11	火	"	"	12		10	6/18	火	"	"	12		11	6/25	火	"	"	12		12	7/2	火	"	"	12		13	7/9	火	日本の四季と太陽	軒の深さやトップライトについて	12		14	7/23	火	集まりの広さ 団らん(家族)	団らんとは何か、その物理的しつらえを学ぶ	12	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/16	火	寝室 クローゼット	寝室に繋がるワードローブに求められる事	12																																																																																																											
2	4/23	火	"	1日の行動、就寝起床の前後	12																																																																																																											
3	4/30	火	"	"	12																																																																																																											
4	5/7	火	"	"	12																																																																																																											
5	5/14	火	"	"	12																																																																																																											
6	5/21	火	"	"	12																																																																																																											
7	5/28	火	作業と動作 料理	食卓との関係まで	12																																																																																																											
8	6/4	火	"	"	12																																																																																																											
9	6/11	火	"	"	12																																																																																																											
10	6/18	火	"	"	12																																																																																																											
11	6/25	火	"	"	12																																																																																																											
12	7/2	火	"	"	12																																																																																																											
13	7/9	火	日本の四季と太陽	軒の深さやトップライトについて	12																																																																																																											
14	7/23	火	集まりの広さ 団らん(家族)	団らんとは何か、その物理的しつらえを学ぶ	12																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>授業の進み具合によって課題の変更、中止あり。</p> <p>■評価方法</p> <p>提出作品とプレゼンテーションで評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>製図の教科書、その他配布資料。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>なし。</p> <p>■教員紹介</p> <p>一級建築士事務所自営</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	デザイン演習	河 浩介	後期前半	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>設計条件を細分化し、その課題を短期間に仕上げることで問題解決能力の能力向上(スピード)を目指す。課題により時間数は増減する。</p> <p>■到達目標</p> <p>情報収集の効率化、問題点の整理・解決能力の向上をはかり、関係性をデザインすることを学ぶ。合わせてプレゼンテーション能力向上させる。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/12</td> <td>木</td> <td>採光と通風 夏向き・冬向きの家</td> <td>気候と空間との関係を探る</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/24</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>家族の為のしつらえ</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/30</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/7</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/21</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/28</td> <td>月</td> <td>8畳間に中庭と洗面、浴室</td> <td>外部を取り込んだ水回り、条件の設定(寝室との関係)</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/11</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/18</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/25</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/2</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/9</td> <td>月</td> <td>3畳間の寝室</td> <td>立体的な構成、身体とのスケール</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/16</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>平面・断面の相関を学ぶ</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/23</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/9</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/12	木	採光と通風 夏向き・冬向きの家	気候と空間との関係を探る	12		2	9/24	火	〃	家族の為のしつらえ	12		3	9/30	月	〃	〃	12		4	10/7	月	〃	〃	12		5	10/21	月	〃	〃	12		6	10/28	月	8畳間に中庭と洗面、浴室	外部を取り込んだ水回り、条件の設定(寝室との関係)	12		7	11/11	月	〃	〃	12		8	11/18	月	〃	〃	12		9	11/25	月	〃	〃	12		10	12/2	月	〃	〃	12		11	12/9	月	3畳間の寝室	立体的な構成、身体とのスケール	12		12	12/16	月	〃	平面・断面の相関を学ぶ	12		13	12/23	月	〃	〃	12		14	1/9	木	〃	〃	12	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/12	木	採光と通風 夏向き・冬向きの家	気候と空間との関係を探る	12																																																																																																											
2	9/24	火	〃	家族の為のしつらえ	12																																																																																																											
3	9/30	月	〃	〃	12																																																																																																											
4	10/7	月	〃	〃	12																																																																																																											
5	10/21	月	〃	〃	12																																																																																																											
6	10/28	月	8畳間に中庭と洗面、浴室	外部を取り込んだ水回り、条件の設定(寝室との関係)	12																																																																																																											
7	11/11	月	〃	〃	12																																																																																																											
8	11/18	月	〃	〃	12																																																																																																											
9	11/25	月	〃	〃	12																																																																																																											
10	12/2	月	〃	〃	12																																																																																																											
11	12/9	月	3畳間の寝室	立体的な構成、身体とのスケール	12																																																																																																											
12	12/16	月	〃	平面・断面の相関を学ぶ	12																																																																																																											
13	12/23	月	〃	〃	12																																																																																																											
14	1/9	木	〃	〃	12																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>授業の進み具合によって課題の変更、中止あり。</p> <p>■評価方法</p> <p>提出作品とプレゼンテーションで評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>プリント</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>なし。</p> <p>■教員紹介</p> <p>一級建築士事務所自営</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	住宅デザインB	田中裕二	前期	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 『都市に暮らす小さな住まい』 三十代の夫婦と小学校低学年という構成の家族が暮らすための家を設計する。							
■到達目標 そこに暮らす施主のために、時代のもつ問題や家族のあり方、場所の特徴、土地の制約などを複合的に考えながら設計に結びつける。基本構想から最終のプレゼンテーションまで、施主がこの家ならと納得できるような設計にまとめあげることが目標とする。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/18	木	基本構想-1	課題の説明、ゾーニングの考え方	12		
2	4/25	木	基本構想-2	敷地調査とその分析および平面計画	12		
3	5/2	木	基本構想-3	平面計画とスタディモデルの作成	12		
4	5/9	木	基本計画-1	配置計画	12		
5	5/16	木	基本計画-2	平面・断面・立面計画	12		
6	5/23	木	基本計画-3	平面・断面・立面計画	12		
7	6/6	木	基本設計-1	配置図・平面図の作成	12		
8	6/13	木	基本設計-2	配置図・平面図の作成	12		
9	6/20	木	基本設計-3	立面図・断面図の作成	12		
10	6/27	木	基本設計-4	立面図・断面図の作成	12		
11	7/4	木	基本設計-5	模型の作成	12		
12	7/11	木	基本設計-6	模型の作成	12		
13	7/18	木	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションボードの作成	12		
14	7/25	木	発表	プレゼンテーションボードの作成、発表	12		
■履修上の注意事項 大きな考え方から細かな機能まで、すべてが詰まっている住宅を丁寧に設計する。 自分の考えたことを他の人にきちんと伝えることを考えること。 2級建築士指定科目							
■評価方法 提出物、授業態度、取組む姿勢、出席率などで総合的に評価をするが、最終成果物の提出及びプレゼンテーションが重要な評価対象となる。 エスキースの準備は毎回事前に行い、授業に臨むこと。							
■教科書、教材 なし。							
■授業時間以外の学習 設計をまとめる上で考えること、それをアウトプットすることが非常に重要です。 授業内だけで完結させずにエスキースの準備を授業前に行うこと。							
■教員紹介 普段は設計事務所で設計の実務をしています。経験談を交え、設計の楽しさを伝えられたらと思います。							
■その他 この授業用にノートを用意することをオススメします。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	建築デザインA	大野三太	後期前半	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容 課題「多世代家族のための住宅」の基本計画。</p> <p>■到達目標 多世代家族のための住宅設計を通して、“家族のありかた”を考えつつ、その住宅に必要な諸条件を解決しながら、いかに豊かな生活の場を組み立てていくかを学ぶ。</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/18</td><td>水</td><td>ガイダンス</td><td>課題の説明 考え方の説明</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>9/25</td><td>水</td><td>基本構想</td><td>全体構成の検討.1</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>10/2</td><td>水</td><td>〃</td><td>全体構成の検討.2</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>10/9</td><td>水</td><td>〃</td><td>全体構成の検討.3</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>10/16</td><td>水</td><td>基本計画</td><td>平面図の作成.1</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>10/23</td><td>水</td><td>〃</td><td>平面図の作成.2</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>10/30</td><td>水</td><td>〃</td><td>平面図の作成.3</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>11/6</td><td>水</td><td>〃</td><td>平面図の作成.4</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>11/13</td><td>水</td><td>〃</td><td>平面図の作成.5</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>11/20</td><td>水</td><td>〃</td><td>平面図の作成.6</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>11/27</td><td>水</td><td>〃</td><td>断面図の作成.1</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>12/4</td><td>水</td><td>〃</td><td>断面図の作成.2</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>12/11</td><td>水</td><td>〃</td><td>立面図の作成.1</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>12/18</td><td>水</td><td>〃</td><td>立面図の作成.2</td><td>12</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項 建築の部分に囚われるのではなく、あくまで全体のあり方をしっかりと捉え、自分の考えたこと、論理をどのようにすれば空間として構成できるかを考える。 2級建築士指定科目</p> <p>■評価方法 家族のあり方はどのようなべきかをしっかりと捉えているか。その空間構成がうまくまとめられているか。特徴のある空間が構成されているか、またダイナミックさや豊かさがいかに表現されているか。 制作物・授業態度・出席その他により総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材 なし。</p> <p>■授業時間以外の学習 現物や雑誌などで類似した建物をよく観察する。 設計競技への参加、建築等のデザイン関係の展示の見学を積極的に行う。</p> <p>■教員紹介 1999年：東洋大学工学部建築学科卒業・1999年：隈研吾建築都市設計事務所勤務・2005年：SH□architects共同設立 2010年：大野三太建築設計事務所に改称 資格：一級建築士(管理建築士)</p> <p>■その他 なし。</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/18	水	ガイダンス	課題の説明 考え方の説明	12		2	9/25	水	基本構想	全体構成の検討.1	12		3	10/2	水	〃	全体構成の検討.2	12		4	10/9	水	〃	全体構成の検討.3	12		5	10/16	水	基本計画	平面図の作成.1	12		6	10/23	水	〃	平面図の作成.2	12		7	10/30	水	〃	平面図の作成.3	12		8	11/6	水	〃	平面図の作成.4	12		9	11/13	水	〃	平面図の作成.5	12		10	11/20	水	〃	平面図の作成.6	12		11	11/27	水	〃	断面図の作成.1	12		12	12/4	水	〃	断面図の作成.2	12		13	12/11	水	〃	立面図の作成.1	12		14	12/18	水	〃	立面図の作成.2	12	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/18	水	ガイダンス	課題の説明 考え方の説明	12																																																																																																											
2	9/25	水	基本構想	全体構成の検討.1	12																																																																																																											
3	10/2	水	〃	全体構成の検討.2	12																																																																																																											
4	10/9	水	〃	全体構成の検討.3	12																																																																																																											
5	10/16	水	基本計画	平面図の作成.1	12																																																																																																											
6	10/23	水	〃	平面図の作成.2	12																																																																																																											
7	10/30	水	〃	平面図の作成.3	12																																																																																																											
8	11/6	水	〃	平面図の作成.4	12																																																																																																											
9	11/13	水	〃	平面図の作成.5	12																																																																																																											
10	11/20	水	〃	平面図の作成.6	12																																																																																																											
11	11/27	水	〃	断面図の作成.1	12																																																																																																											
12	12/4	水	〃	断面図の作成.2	12																																																																																																											
13	12/11	水	〃	立面図の作成.1	12																																																																																																											
14	12/18	水	〃	立面図の作成.2	12																																																																																																											

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	店舗デザインA	高山不二夫	前期	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>トレンドファッションを軸とした店舗のデザインから図面制作、仕様書までを行う。 図面制作については計画全体を把握し、下地から仕上げまでを正確に手書で行う。 店舗は都心に建つテナントビルRC造/S造とする。</p> <p>■到達目標</p> <p>3次元で「もの」を捉え、立体的に図面化する力を養う。 非日常的空間の創造力を養う。 ファッションやテナントリーシングについて深い知識を養う。</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/12</td> <td>金</td> <td>実施デザインと解説</td> <td>店舗デザインの概要と授業内容の説明</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/19</td> <td>金</td> <td>物販店のデザイン基礎</td> <td>図面を解説</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/26</td> <td>金</td> <td>物販店の実施計画</td> <td>計画の説明と白図制作</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/10</td> <td>金</td> <td>物販店を各自デザインする</td> <td>機能の説明と図面の書き方を指導</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/17</td> <td>金</td> <td>物販店のレイアウト計画</td> <td>レイアウトと立体との関係</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/24</td> <td>金</td> <td>物販店の平面図制作</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/7</td> <td>金</td> <td>物販店の平面図制作</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/14</td> <td>金</td> <td>物販店の展開図・断面図制作 S=1/30</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/21</td> <td>金</td> <td>物販店の展開図・断面図制作 S=1/30</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/28</td> <td>金</td> <td>物販店の鳥瞰図制作 S=1/50</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7/5</td> <td>金</td> <td>物販店の鳥瞰図制作 S=1/50</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/12</td> <td>金</td> <td>物販店の鳥瞰図制作 S=1/50</td> <td>仕様書・コンセプトの確認</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/19</td> <td>金</td> <td>物販店の鳥瞰図を着彩</td> <td>〃</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/24</td> <td>水</td> <td>プレゼンテーション(発表会)</td> <td>図面類は青焼・白焼の上、製本する</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項</p> <p>図面全体を把握し計画を進めるため、2年前期は手書で図面制作を行う。 2級建築士指定科目</p> <p>■評価方法</p> <p>デザイン・企画デザイン力(30)、全体計画力(30)、制作技術力(30)、プレゼン力・出席率(10)</p> <p>■教科書、教材</p> <p>配布資料</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>多くの店舗を見て廻る。</p> <p>■教員紹介</p> <p>高山不二夫デザイン研究所・代表取締役所長、ショップデザイン中心に美術館展覧会会場構成、茶室・住宅設計を手掛ける。 マイスター商業施設士</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/12	金	実施デザインと解説	店舗デザインの概要と授業内容の説明	12		2	4/19	金	物販店のデザイン基礎	図面を解説	12		3	4/26	金	物販店の実施計画	計画の説明と白図制作	12		4	5/10	金	物販店を各自デザインする	機能の説明と図面の書き方を指導	12		5	5/17	金	物販店のレイアウト計画	レイアウトと立体との関係	12		6	5/24	金	物販店の平面図制作	〃	12		7	6/7	金	物販店の平面図制作	〃	12		8	6/14	金	物販店の展開図・断面図制作 S=1/30	〃	12		9	6/21	金	物販店の展開図・断面図制作 S=1/30	〃	12		10	6/28	金	物販店の鳥瞰図制作 S=1/50	〃	12		11	7/5	金	物販店の鳥瞰図制作 S=1/50	〃	12		12	7/12	金	物販店の鳥瞰図制作 S=1/50	仕様書・コンセプトの確認	12		13	7/19	金	物販店の鳥瞰図を着彩	〃	12		14	7/24	水	プレゼンテーション(発表会)	図面類は青焼・白焼の上、製本する	12	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/12	金	実施デザインと解説	店舗デザインの概要と授業内容の説明	12																																																																																																											
2	4/19	金	物販店のデザイン基礎	図面を解説	12																																																																																																											
3	4/26	金	物販店の実施計画	計画の説明と白図制作	12																																																																																																											
4	5/10	金	物販店を各自デザインする	機能の説明と図面の書き方を指導	12																																																																																																											
5	5/17	金	物販店のレイアウト計画	レイアウトと立体との関係	12																																																																																																											
6	5/24	金	物販店の平面図制作	〃	12																																																																																																											
7	6/7	金	物販店の平面図制作	〃	12																																																																																																											
8	6/14	金	物販店の展開図・断面図制作 S=1/30	〃	12																																																																																																											
9	6/21	金	物販店の展開図・断面図制作 S=1/30	〃	12																																																																																																											
10	6/28	金	物販店の鳥瞰図制作 S=1/50	〃	12																																																																																																											
11	7/5	金	物販店の鳥瞰図制作 S=1/50	〃	12																																																																																																											
12	7/12	金	物販店の鳥瞰図制作 S=1/50	仕様書・コンセプトの確認	12																																																																																																											
13	7/19	金	物販店の鳥瞰図を着彩	〃	12																																																																																																											
14	7/24	水	プレゼンテーション(発表会)	図面類は青焼・白焼の上、製本する	12																																																																																																											

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	店舗デザインB	高山不二夫	後期前半	午前	必修	演習/講義	42
■授業内容 飲食を中心の空間デザインを学びます。 店舗立地は都心としRC造・S造・木造2階建を基本とし建物から内装までを設計する。							
■到達目標 図面の読解力を養う。材料の下地・仕上を考え、正確な図面精度で書く力を養う。 食空間のサービスと機能を理解する力を養う。 店舗デザインA以上に機能部が多くなるため、より原寸大を把握し創造力を養い、図面精度を高める。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/13	金	飲食店デザインの概要と授業内容の説明	飲食店デザインの概要解説と授業の進め方の説明	12		
2	9/20	金	飲食店のデザイン基礎	図面資料を基にデザイン及び機能、オペレーションを解説	12		
3	9/27	金	飲食店の計画・厨房設備	飲食店の計画を進めるための基本的デザインの考え方を説明	12		
4	10/4	金	飲食店のレイアウト計画	飲食店計画・個々に指導	12		
5	10/11	金	飲食店の平面図制作 S=1/50	〃	12		
6	10/25	金	飲食店の平面図制作 S=1/50	〃	12		
7	11/8	金	飲食店の平面図制作 S=1/50	〃	12		
8	11/15	金	飲食店の断面図制作 S=1/50	〃	12		
9	11/22	金	飲食店の展開図制作 S=1/50	〃	12		
10	11/29	金	飲食店の立面図制作 S=1/50	〃	12		
11	12/6	金	飲食店の鳥瞰図制作	〃	12		
12	12/13	金	飲食店の鳥瞰図制作	仕様書・コンセプトの確認	12		
13	12/20	金	飲食店の鳥瞰図制作	〃	12		
14	1/10	金	プレゼンテーション(発表会)	図面類は青焼・白焼の上、製本する	12		
■履修上の注意事項 図面全体を把握し計画を進め、手書で行った前期から後期ではCAD制作を主体として進める。 2級建築士指定科目。							
■評価方法 デザイン・企画力(30)、全体計画力(30)、制作技術力(30)、プレゼン力・出席率(10)							
■教科書、教材 配布資料。							
■授業時間以外の学習 飲食店でのオペレーションシステムと客導線を注意深く観察する。							
■教員紹介 高山不二夫デザイン研究所・代表取締役所長、ショップデザイン中心に美術館展覧会会場構成、茶室・住宅設計を手掛ける。 マイスター商業施設士							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	建築製図B	河 浩介	前期	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>CAD(Vector Works)による建築設計図書の作成技術を学ぶ。</p> <p>■到達目標</p> <p>2D CADを使用して、精密な建築製図の作成方法を修得する。 他者に正確に伝達する為の表現力を修得する。</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4/17</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 平面図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>4/24</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 平面図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>5/1</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 平面詳細図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>5/8</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 平面詳細図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>5/15</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 平面詳細図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>5/22</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 断面図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>5/29</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 立面図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>6/5</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 伏図・配置図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>6/12</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 棒矩計図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>6/19</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 矩計図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>6/26</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 矩計図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>7/3</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 矩計図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>7/10</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 展開図</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>7/17</td><td>水</td><td>2D CAD製図</td><td>木造住宅 展開図</td><td>9</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項</p> <p>手書きと同じ製図の基本(順番や注意点)を理解すること。 2級建築士の指定科目</p> <p>■評価方法</p> <p>単位の設定やスナップで正確な情報を操作出来るか、効率の良いツールやコマンドが選択出来るか。 成果図面と出席などで総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>製図の教科書、その他配布資料。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介</p> <p>一級建築士事務所自営</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/17	水	2D CAD製図	木造住宅 平面図	9		2	4/24	水	2D CAD製図	木造住宅 平面図	9		3	5/1	水	2D CAD製図	木造住宅 平面詳細図	9		4	5/8	水	2D CAD製図	木造住宅 平面詳細図	9		5	5/15	水	2D CAD製図	木造住宅 平面詳細図	9		6	5/22	水	2D CAD製図	木造住宅 断面図	9		7	5/29	水	2D CAD製図	木造住宅 立面図	9		8	6/5	水	2D CAD製図	木造住宅 伏図・配置図	9		9	6/12	水	2D CAD製図	木造住宅 棒矩計図	9		10	6/19	水	2D CAD製図	木造住宅 矩計図	9		11	6/26	水	2D CAD製図	木造住宅 矩計図	9		12	7/3	水	2D CAD製図	木造住宅 矩計図	9		13	7/10	水	2D CAD製図	木造住宅 展開図	9		14	7/17	水	2D CAD製図	木造住宅 展開図	9	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/17	水	2D CAD製図	木造住宅 平面図	9																																																																																																											
2	4/24	水	2D CAD製図	木造住宅 平面図	9																																																																																																											
3	5/1	水	2D CAD製図	木造住宅 平面詳細図	9																																																																																																											
4	5/8	水	2D CAD製図	木造住宅 平面詳細図	9																																																																																																											
5	5/15	水	2D CAD製図	木造住宅 平面詳細図	9																																																																																																											
6	5/22	水	2D CAD製図	木造住宅 断面図	9																																																																																																											
7	5/29	水	2D CAD製図	木造住宅 立面図	9																																																																																																											
8	6/5	水	2D CAD製図	木造住宅 伏図・配置図	9																																																																																																											
9	6/12	水	2D CAD製図	木造住宅 棒矩計図	9																																																																																																											
10	6/19	水	2D CAD製図	木造住宅 矩計図	9																																																																																																											
11	6/26	水	2D CAD製図	木造住宅 矩計図	9																																																																																																											
12	7/3	水	2D CAD製図	木造住宅 矩計図	9																																																																																																											
13	7/10	水	2D CAD製図	木造住宅 展開図	9																																																																																																											
14	7/17	水	2D CAD製図	木造住宅 展開図	9																																																																																																											

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	3D CAD A	粕谷奈緒子	前期	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>3DCADに必要な基本的な知識と操作を学ぶ。</p> <p>■到達目標</p> <p>汎用的な3Dオブジェクトを用いて、家具やインテリアのモデリング、レンダリングを行う。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/10</td> <td>水</td> <td>ガイダンス 課題説明</td> <td>3Dの概要 課題説明 基本操作説明</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>月</td> <td>基本操作</td> <td>柱状体 回転体 図形の加工と編集</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>月</td> <td>練習課題</td> <td>テーブルの作成</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/13</td> <td>月</td> <td>課題1-1</td> <td>椅子の3D作成 レンダリング</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/20</td> <td>月</td> <td>課題1-2</td> <td>椅子2の3D作成 レンダリング</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/27</td> <td>月</td> <td>課題1-3</td> <td>プレゼンテーション作成</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/3</td> <td>月</td> <td>課題1-4 発表会</td> <td>作品のプレゼンテーション</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/10</td> <td>月</td> <td>課題_2 説明</td> <td>住宅の外観・内観パース 基本操作の説明</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/17</td> <td>月</td> <td>課題_2-1</td> <td>床 壁 天井 作成</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/24</td> <td>月</td> <td>課題_2-2</td> <td>開口部 作成</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7/1</td> <td>月</td> <td>課題_2-3</td> <td>テクスチャー作成</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/8</td> <td>月</td> <td>課題_2-4</td> <td>テクスチャー作成</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/16</td> <td>火</td> <td>課題_2-5</td> <td>レンダリング</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/22</td> <td>月</td> <td>課題_2-6 発表会</td> <td>作品のプレゼンテーション</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/10	水	ガイダンス 課題説明	3Dの概要 課題説明 基本操作説明	9		2	4/15	月	基本操作	柱状体 回転体 図形の加工と編集	9		3	4/22	月	練習課題	テーブルの作成	9		4	5/13	月	課題1-1	椅子の3D作成 レンダリング	9		5	5/20	月	課題1-2	椅子2の3D作成 レンダリング	9		6	5/27	月	課題1-3	プレゼンテーション作成	9		7	6/3	月	課題1-4 発表会	作品のプレゼンテーション	9		8	6/10	月	課題_2 説明	住宅の外観・内観パース 基本操作の説明	9		9	6/17	月	課題_2-1	床 壁 天井 作成	9		10	6/24	月	課題_2-2	開口部 作成	9		11	7/1	月	課題_2-3	テクスチャー作成	9		12	7/8	月	課題_2-4	テクスチャー作成	9		13	7/16	火	課題_2-5	レンダリング	9		14	7/22	月	課題_2-6 発表会	作品のプレゼンテーション	9	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/10	水	ガイダンス 課題説明	3Dの概要 課題説明 基本操作説明	9																																																																																																											
2	4/15	月	基本操作	柱状体 回転体 図形の加工と編集	9																																																																																																											
3	4/22	月	練習課題	テーブルの作成	9																																																																																																											
4	5/13	月	課題1-1	椅子の3D作成 レンダリング	9																																																																																																											
5	5/20	月	課題1-2	椅子2の3D作成 レンダリング	9																																																																																																											
6	5/27	月	課題1-3	プレゼンテーション作成	9																																																																																																											
7	6/3	月	課題1-4 発表会	作品のプレゼンテーション	9																																																																																																											
8	6/10	月	課題_2 説明	住宅の外観・内観パース 基本操作の説明	9																																																																																																											
9	6/17	月	課題_2-1	床 壁 天井 作成	9																																																																																																											
10	6/24	月	課題_2-2	開口部 作成	9																																																																																																											
11	7/1	月	課題_2-3	テクスチャー作成	9																																																																																																											
12	7/8	月	課題_2-4	テクスチャー作成	9																																																																																																											
13	7/16	火	課題_2-5	レンダリング	9																																																																																																											
14	7/22	月	課題_2-6 発表会	作品のプレゼンテーション	9																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>各回授業の積み重ねで作品が完成していくので授業中に作業が進められるように積極的に授業に参加して下さい。 データの保存をきちんと行うようにして下さい。</p> <p>■評価方法</p> <p>評価基準:課題の発表・提出物80%、課題への積極性20% 課題提出: 必須</p> <p>■教科書、教材</p> <p>「Vectorworks 建築製図とプレゼンテーション」学芸出版社</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>課題が授業時間内に終わらない場合のみ宿題。</p> <p>■教員紹介</p> <p>建築家としての設計実務経験を重ねている。 https://www.k-a-o.com</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	3D CAD A	菊地 臨	後期前半	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容 前期に引き続き、3DCADに必要な基本的な知識と操作を学ぶ。</p> <p>■到達目標 建築系の専門的な3DCADツール等を用いて、建築物のモデリング、レンダリングを行う。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/12</td> <td>木</td> <td>建築系3DCADの概要</td> <td>壁、スラブ、屋根の概要</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/24</td> <td>火</td> <td>基本操作-1</td> <td>壁の編集</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>9/30</td> <td>月</td> <td>基本操作-2</td> <td>スラブ、屋根の編集</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/7</td> <td>月</td> <td>基本操作-3</td> <td>ハイブリッドシンボル、2Dコンポーネント、オートハイブリッド</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/21</td> <td>月</td> <td>課題-1</td> <td>RC造小住宅(レイヤ、スケルトン)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/28</td> <td>月</td> <td>課題-1</td> <td>RC造小住宅(開口部)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/11</td> <td>月</td> <td>課題-1</td> <td>RC造小住宅(内装)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/18</td> <td>月</td> <td>課題-1</td> <td>RC造小住宅(外構)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/25</td> <td>月</td> <td>課題-1</td> <td>RC造小住宅(ビューポート、レンダリング)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12/2</td> <td>月</td> <td>課題-2</td> <td>2階建小住宅(レイヤ、スケルトン)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12/9</td> <td>月</td> <td>課題-2</td> <td>2階建小住宅(開口部)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/16</td> <td>月</td> <td>課題-2</td> <td>2階建小住宅(内装、キッチン)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/23</td> <td>月</td> <td>課題-2</td> <td>2階建小住宅(外構、階段)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1/9</td> <td>木</td> <td>課題-2</td> <td>2階建小住宅(ビューポート、レンダリング)</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/12	木	建築系3DCADの概要	壁、スラブ、屋根の概要	9		2	9/24	火	基本操作-1	壁の編集	9		3	9/30	月	基本操作-2	スラブ、屋根の編集	9		4	10/7	月	基本操作-3	ハイブリッドシンボル、2Dコンポーネント、オートハイブリッド	9		5	10/21	月	課題-1	RC造小住宅(レイヤ、スケルトン)	9		6	10/28	月	課題-1	RC造小住宅(開口部)	9		7	11/11	月	課題-1	RC造小住宅(内装)	9		8	11/18	月	課題-1	RC造小住宅(外構)	9		9	11/25	月	課題-1	RC造小住宅(ビューポート、レンダリング)	9		10	12/2	月	課題-2	2階建小住宅(レイヤ、スケルトン)	9		11	12/9	月	課題-2	2階建小住宅(開口部)	9		12	12/16	月	課題-2	2階建小住宅(内装、キッチン)	9		13	12/23	月	課題-2	2階建小住宅(外構、階段)	9		14	1/9	木	課題-2	2階建小住宅(ビューポート、レンダリング)	9	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/12	木	建築系3DCADの概要	壁、スラブ、屋根の概要	9																																																																																																											
2	9/24	火	基本操作-1	壁の編集	9																																																																																																											
3	9/30	月	基本操作-2	スラブ、屋根の編集	9																																																																																																											
4	10/7	月	基本操作-3	ハイブリッドシンボル、2Dコンポーネント、オートハイブリッド	9																																																																																																											
5	10/21	月	課題-1	RC造小住宅(レイヤ、スケルトン)	9																																																																																																											
6	10/28	月	課題-1	RC造小住宅(開口部)	9																																																																																																											
7	11/11	月	課題-1	RC造小住宅(内装)	9																																																																																																											
8	11/18	月	課題-1	RC造小住宅(外構)	9																																																																																																											
9	11/25	月	課題-1	RC造小住宅(ビューポート、レンダリング)	9																																																																																																											
10	12/2	月	課題-2	2階建小住宅(レイヤ、スケルトン)	9																																																																																																											
11	12/9	月	課題-2	2階建小住宅(開口部)	9																																																																																																											
12	12/16	月	課題-2	2階建小住宅(内装、キッチン)	9																																																																																																											
13	12/23	月	課題-2	2階建小住宅(外構、階段)	9																																																																																																											
14	1/9	木	課題-2	2階建小住宅(ビューポート、レンダリング)	9																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項 授業中に作成したCADデータを授業終了時に提出していただくことがあります。 データのバックアップ(保存:⌘+S)は授業中でもこまめに取りるようにしてください。</p> <p>■評価方法 出席日数の他、各提出物毎に理解力、技術力、表現力、応用力を総合的に評価。 (課題1:35%、課題2:35%、授業中に作成したCADデータ:5%、その他出席状況等:25%)</p> <p>■教科書、教材 PDF資料、Vectorworks教材を授業前に配布</p> <p>■授業時間以外の学習 なし。</p> <p>■教員紹介 2002年から現在まで10社ほどの会社で建築設計実務に従事。</p> <p>■その他 なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																													
2年	立体造形	篠原一郎	前期	午後	必修	演習/実技	42																																																																																													
<p>■授業内容</p> <p>実寸モデルの制作を通し立体的な造形感覚や構成力を養う。 造形材料を知り、その性質を理解する。</p> <p>■到達目標</p> <p>基本的な材料の処理方法と加工機器の操作方法を習得する。 柔軟な思考と独自の発想への転換を養う。</p>																																																																																																				
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/17</td> <td>水</td> <td>造形実習① スタディ制作</td> <td rowspan="6">ユニットによる構成で、家具や建築構造にも展開できる立体造形。 板材(シナベニヤ)で模型を2パターン制作。</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/24</td> <td>水</td> <td>造形実習① スタディ制作</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/1</td> <td>水</td> <td>造形実習①</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/8</td> <td>水</td> <td>造形実習①</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/15</td> <td>水</td> <td>造形実習①</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/22</td> <td>水</td> <td>造形実習①</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/29</td> <td>水</td> <td>造形実習② スタディ制作</td> <td rowspan="8">HANDSCULPTURE(美しい曲面の形を創造する) 手になじむ形、快い形、調和する形、 家具や建築への構造体への展開など。 HANDSCULPTUREのスタディの中から1つを選び、 木材または石膏に置き換えて模型を制作。</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/5</td> <td>水</td> <td>造形実習② スタディ制作</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/12</td> <td>水</td> <td>造形実習②</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/19</td> <td>水</td> <td>造形実習②</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/26</td> <td>水</td> <td>造形実習②</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/3</td> <td>水</td> <td>造形実習②</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/10</td> <td>水</td> <td>造形実習②</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/17</td> <td>水</td> <td>造形実習②</td> <td>12・1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/17	水	造形実習① スタディ制作	ユニットによる構成で、家具や建築構造にも展開できる立体造形。 板材(シナベニヤ)で模型を2パターン制作。	12・1		2	4/24	水	造形実習① スタディ制作	12・1		3	5/1	水	造形実習①	12・1		4	5/8	水	造形実習①	12・1		5	5/15	水	造形実習①	12・1		6	5/22	水	造形実習①	12・1		7	5/29	水	造形実習② スタディ制作	HANDSCULPTURE(美しい曲面の形を創造する) 手になじむ形、快い形、調和する形、 家具や建築への構造体への展開など。 HANDSCULPTUREのスタディの中から1つを選び、 木材または石膏に置き換えて模型を制作。	12・1		8	6/5	水	造形実習② スタディ制作	12・1		9	6/12	水	造形実習②	12・1		10	6/19	水	造形実習②	12・1		11	6/26	水	造形実習②	12・1		12	7/3	水	造形実習②	12・1		13	7/10	水	造形実習②	12・1		14	7/17	水	造形実習②	12・1	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																														
1	4/17	水	造形実習① スタディ制作	ユニットによる構成で、家具や建築構造にも展開できる立体造形。 板材(シナベニヤ)で模型を2パターン制作。	12・1																																																																																															
2	4/24	水	造形実習① スタディ制作		12・1																																																																																															
3	5/1	水	造形実習①		12・1																																																																																															
4	5/8	水	造形実習①		12・1																																																																																															
5	5/15	水	造形実習①		12・1																																																																																															
6	5/22	水	造形実習①		12・1																																																																																															
7	5/29	水	造形実習② スタディ制作	HANDSCULPTURE(美しい曲面の形を創造する) 手になじむ形、快い形、調和する形、 家具や建築への構造体への展開など。 HANDSCULPTUREのスタディの中から1つを選び、 木材または石膏に置き換えて模型を制作。	12・1																																																																																															
8	6/5	水	造形実習② スタディ制作		12・1																																																																																															
9	6/12	水	造形実習②		12・1																																																																																															
10	6/19	水	造形実習②		12・1																																																																																															
11	6/26	水	造形実習②		12・1																																																																																															
12	7/3	水	造形実習②		12・1																																																																																															
13	7/10	水	造形実習②		12・1																																																																																															
14	7/17	水	造形実習②		12・1																																																																																															
<p>■履修上の注意事項</p> <p>制作準備は最低限行っておくこと。提出期限は厳守。</p> <p>■評価方法</p> <p>提出課題作品ごとに授業時間や内容によって比率化し、100点満点に換算します。 評価項目 = 課題作品・宿題提出物・授業姿勢・出席</p> <p>■教科書、教材</p> <p>なし。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>授業では指導、制作、講評が中心なので、授業外でアイデアや構想をしっかりと練る。</p> <p>■教員紹介</p> <p>中学・高等学校教諭一種免許状(美術・工芸)</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																																				

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	建築法規	丸山裕平	後期前半	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>建築に関連する法規の体系を理解し、法規の読み取り方を学ぶ。 建築基準法については資格取得の為の基礎学習とする。</p> <p>■到達目標</p> <p>建築に関わる法規を理解し、設計に活用できるようにする。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/19</td> <td>木</td> <td>建築関連法規の基礎知識</td> <td>用語の定義</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/26</td> <td>木</td> <td>集団規定1</td> <td>道路と敷地・建物の関係</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/3</td> <td>木</td> <td>集団規定2</td> <td>用途地域による建物の用途制限</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/10</td> <td>木</td> <td>集団規定3</td> <td>建ぺい率と容積率</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/17</td> <td>木</td> <td>集団規定4</td> <td>建築物高さの制限</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/24</td> <td>木</td> <td>集団規定5</td> <td>日影規制</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/31</td> <td>木</td> <td>集団規定6</td> <td>防火地域と防火規制</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/7</td> <td>木</td> <td>単体規定1</td> <td>面積・高さの算定方法</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/14</td> <td>木</td> <td>単体規定2</td> <td>採光、換気、階段、天井高など</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11/21</td> <td>木</td> <td>単体規定3</td> <td>構造規定について</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>11/28</td> <td>木</td> <td>単体規定4</td> <td>防火・準耐火・耐火建築物、防火区画</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/5</td> <td>木</td> <td>単体規定5</td> <td>避難施設と内装制限</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/12</td> <td>木</td> <td>関連法規</td> <td>都市計画法、消防法、建築士法、建築業法等</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>12/19</td> <td>木</td> <td>建築に関する手続き</td> <td>確認申請とその他の手続き</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/19	木	建築関連法規の基礎知識	用語の定義	12		2	9/26	木	集団規定1	道路と敷地・建物の関係	12		3	10/3	木	集団規定2	用途地域による建物の用途制限	12		4	10/10	木	集団規定3	建ぺい率と容積率	12		5	10/17	木	集団規定4	建築物高さの制限	12		6	10/24	木	集団規定5	日影規制	12		7	10/31	木	集団規定6	防火地域と防火規制	12		8	11/7	木	単体規定1	面積・高さの算定方法	12		9	11/14	木	単体規定2	採光、換気、階段、天井高など	12		10	11/21	木	単体規定3	構造規定について	12		11	11/28	木	単体規定4	防火・準耐火・耐火建築物、防火区画	12		12	12/5	木	単体規定5	避難施設と内装制限	12		13	12/12	木	関連法規	都市計画法、消防法、建築士法、建築業法等	12		14	12/19	木	建築に関する手続き	確認申請とその他の手続き	12	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/19	木	建築関連法規の基礎知識	用語の定義	12																																																																																																											
2	9/26	木	集団規定1	道路と敷地・建物の関係	12																																																																																																											
3	10/3	木	集団規定2	用途地域による建物の用途制限	12																																																																																																											
4	10/10	木	集団規定3	建ぺい率と容積率	12																																																																																																											
5	10/17	木	集団規定4	建築物高さの制限	12																																																																																																											
6	10/24	木	集団規定5	日影規制	12																																																																																																											
7	10/31	木	集団規定6	防火地域と防火規制	12																																																																																																											
8	11/7	木	単体規定1	面積・高さの算定方法	12																																																																																																											
9	11/14	木	単体規定2	採光、換気、階段、天井高など	12																																																																																																											
10	11/21	木	単体規定3	構造規定について	12																																																																																																											
11	11/28	木	単体規定4	防火・準耐火・耐火建築物、防火区画	12																																																																																																											
12	12/5	木	単体規定5	避難施設と内装制限	12																																																																																																											
13	12/12	木	関連法規	都市計画法、消防法、建築士法、建築業法等	12																																																																																																											
14	12/19	木	建築に関する手続き	確認申請とその他の手続き	12																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>2級建築士の指定科目</p> <p>■評価方法</p> <p>テスト及び出席とその他を総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>超入門建築法規イラスト解説による(市ヶ谷出版会) 参考書・見るだけで分かる! 建築基準法入門(株式会社エクスナレッジ)</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>建物に関心を寄せる。</p> <p>■教員紹介</p> <p>大学卒業後、建築設計事務所勤務の後、家業の建築設計事務所・工務店を承継。 主に住宅・店舗の設計施工を行う。一級建築士。</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	建築材料学	丸山裕平	前期	午後	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>建築材料に関連する素材を理解し、そのサイエンスからデザインへの発展を学ぶ。 建築材料について資格取得の為の基礎学習とする。</p> <p>■到達目標</p> <p>建築に関わる材料を理解し設計に活用できるようにする。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/10</td> <td>水</td> <td>木材</td> <td>木材と建築</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>構法・部位に合わせた選択</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>月</td> <td>コンクリート</td> <td>コンクリートと建築</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/13</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>コンクリートの強度</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/20</td> <td>月</td> <td>鉄鋼材料</td> <td>鉄と鋼材</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/27</td> <td>月</td> <td>ガラス</td> <td>ガラスと建築</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/3</td> <td>月</td> <td>石材</td> <td>建築と石材</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/10</td> <td>月</td> <td>セラミックス</td> <td>セラミックスタイルの種類と特徴</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/17</td> <td>月</td> <td>金属材料</td> <td>ステンレス</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/24</td> <td>月</td> <td>塗料</td> <td>建築と塗料</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7/1</td> <td>月</td> <td>無機質ボード</td> <td>石膏ボード</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/8</td> <td>月</td> <td>繊維・ビニル系材料</td> <td>畳</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/16</td> <td>火</td> <td>機能性材料</td> <td>機能性材料の種類</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/22</td> <td>月</td> <td>テスト</td> <td>テスト</td> <td>12</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/10	水	木材	木材と建築	12		2	4/15	月	〃	構法・部位に合わせた選択	12		3	4/22	月	コンクリート	コンクリートと建築	12		4	5/13	月	〃	コンクリートの強度	12		5	5/20	月	鉄鋼材料	鉄と鋼材	12		6	5/27	月	ガラス	ガラスと建築	12		7	6/3	月	石材	建築と石材	12		8	6/10	月	セラミックス	セラミックスタイルの種類と特徴	12		9	6/17	月	金属材料	ステンレス	12		10	6/24	月	塗料	建築と塗料	12		11	7/1	月	無機質ボード	石膏ボード	12		12	7/8	月	繊維・ビニル系材料	畳	12		13	7/16	火	機能性材料	機能性材料の種類	12		14	7/22	月	テスト	テスト	12	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/10	水	木材	木材と建築	12																																																																																																											
2	4/15	月	〃	構法・部位に合わせた選択	12																																																																																																											
3	4/22	月	コンクリート	コンクリートと建築	12																																																																																																											
4	5/13	月	〃	コンクリートの強度	12																																																																																																											
5	5/20	月	鉄鋼材料	鉄と鋼材	12																																																																																																											
6	5/27	月	ガラス	ガラスと建築	12																																																																																																											
7	6/3	月	石材	建築と石材	12																																																																																																											
8	6/10	月	セラミックス	セラミックスタイルの種類と特徴	12																																																																																																											
9	6/17	月	金属材料	ステンレス	12																																																																																																											
10	6/24	月	塗料	建築と塗料	12																																																																																																											
11	7/1	月	無機質ボード	石膏ボード	12																																																																																																											
12	7/8	月	繊維・ビニル系材料	畳	12																																																																																																											
13	7/16	火	機能性材料	機能性材料の種類	12																																																																																																											
14	7/22	月	テスト	テスト	12																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>2級建築士の指定科目</p> <p>■評価方法</p> <p>テスト及び出席とその他を総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>図説やさしい建築材料(学芸出版社)</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>身近な建物に使われている建築材料を調べる。</p> <p>■教員紹介</p> <p>大学卒業後、建築設計事務所勤務の後、家業の建築設計事務所・工務店を承継。 主に住宅・店舗の設計施工を行う。一級建築士。</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	CG A	菊地 臨	後期前半	午前	必修	演習/講義	42
■授業内容 コンピュータを活用した、プレゼンテーション表現、技法、技術の習得。							
■到達目標 Photoshop、Illustratorの高度な使用方法の習熟。 特に画像データの仕組みや扱い、その他パソコンに関する様々な知識を得る。 自分の考え(デザイン)を、より正しく効果的に伝える力をつける。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	イントロダクション	講義概要、自己紹介、CG・プレゼン事例等	9		
2	10/1	火	PC環境の仕組み	ソフトウェアとハードウェア、管理上の注意	9		
3	10/8	火	画像データについて	種類と特徴、構造、階層度、色深度	9		
4	10/15	火	〃	〃	9		
5	10/22	火	Photoshop習得	選択範囲、描画、レイヤー、チャンネル、マスク、色調補正等	9		
6	10/29	火	〃	〃	9		
7	11/5	火	〃	〃	9		
8	11/12	火	〃	〃	9		
9	11/19	火	〃	〃	9		
10	11/26	火	〃	〃	9		
11	12/3	火	Photoshop演習	サロン内観CGを使って、レイヤー、マスク等の演習	9		
12	12/10	火	〃	〃	9		
13	12/17	火	〃	〃	9		
14	12/24	火	プレゼン手法	Illustrator、Photoshopによるプレゼンボード制作の手法	9		
■履修上の注意事項 各自のPCのメンテ、データの整理やバックアップをしっかりとすること。							
■評価方法 理解度(30)、課題の取組み姿勢(20)、出席・その他(50)							
■教科書、教材 各自PC、バックアップ用HDD、ノート、筆記具							
■授業時間以外の学習 なし。							
■教員紹介 2002年から現在まで10社ほどの会社で建築設計実務に従事。							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	環境デザイン	深澤 明	後期前半	午後	必修	演習/講義	18																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>環境デザインとはどのようなものか学ぶ。 人と建築、地域、地球環境の関係を知り、環境と調和したサステナブルな建築を設計するための基礎を学ぶ。</p> <p>■到達目標</p> <p>身の回りの環境と建築デザインがどのように関係しているか考え理解する。 環境をデザインすることの概要をつかむ。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/19</td> <td>木</td> <td>ガイダンス 概要</td> <td>環境デザインとは 快適な環境とは 社会情勢</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/26</td> <td>木</td> <td>太陽をとらえる① 熱</td> <td>太陽の影響を模型実験で確かめる 箱実験</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/3</td> <td>木</td> <td>太陽をとらえる② 日射</td> <td>太陽の影響を模型実験で確かめる 庇実験</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/10</td> <td>木</td> <td>身近な環境を考える</td> <td>測定器具等を使って計測</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/17</td> <td>木</td> <td>環境視点で考える</td> <td>住宅課題への応用検討 テキスト事例紹介</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/24</td> <td>木</td> <td>発表 まとめ</td> <td>住宅課題に環境デザインの要素を取り入れて提案</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/19	木	ガイダンス 概要	環境デザインとは 快適な環境とは 社会情勢	12		2	9/26	木	太陽をとらえる① 熱	太陽の影響を模型実験で確かめる 箱実験	12		3	10/3	木	太陽をとらえる② 日射	太陽の影響を模型実験で確かめる 庇実験	12		4	10/10	木	身近な環境を考える	測定器具等を使って計測	12		5	10/17	木	環境視点で考える	住宅課題への応用検討 テキスト事例紹介	12		6	10/24	木	発表 まとめ	住宅課題に環境デザインの要素を取り入れて提案	12		7							8							9							10							11							12							13							14						
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/19	木	ガイダンス 概要	環境デザインとは 快適な環境とは 社会情勢	12																																																																																																											
2	9/26	木	太陽をとらえる① 熱	太陽の影響を模型実験で確かめる 箱実験	12																																																																																																											
3	10/3	木	太陽をとらえる② 日射	太陽の影響を模型実験で確かめる 庇実験	12																																																																																																											
4	10/10	木	身近な環境を考える	測定器具等を使って計測	12																																																																																																											
5	10/17	木	環境視点で考える	住宅課題への応用検討 テキスト事例紹介	12																																																																																																											
6	10/24	木	発表 まとめ	住宅課題に環境デザインの要素を取り入れて提案	12																																																																																																											
7																																																																																																																
8																																																																																																																
9																																																																																																																
10																																																																																																																
11																																																																																																																
12																																																																																																																
13																																																																																																																
14																																																																																																																
<p>■履修上の注意事項</p> <p>講義を良く聞くこと。 実験や演習へ積極的に取り組むなど、授業には参加する態度で臨むこと。 2級建築士指定科目</p> <p>■評価方法</p> <p>実験演習等へのとりくみ課題提出(50%) 出席率と授業参加態度(50%)</p> <p>■教科書、教材</p> <p>自然エネルギー利用のためのパッシブ建築設計手法事典 (彰国社)</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>社会情勢など視野を広くもつこと。 身のまわりの熱環境、光環境、空気環境、デザインにも興味を持ち考えること。</p> <p>■教員紹介</p> <p>一級建築士 / 一級建築士事務所 管理建築士</p> <p>■その他</p> <p>※すべての授業でモニタ(プロジェクター)を使用</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
2年	現代建築論	近藤創順	後期前半	午後	必修	演習/講義	24																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>現代建築の源流である西洋ルネッサンス以降近代に至る広い範囲で、建築思潮上重要と思われる作家と作品を重点的に取り上げ、建築を設計する視点から解説し、その上で現代建築を解釈し、空間のイメージの多様性を学んでいく。</p> <p>■到達目標</p> <p>建築全体への興味・関心を深め、それを自分の思想やライフスタイルに重ねあわせられるようになること。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/18</td> <td>水</td> <td>ルネッサンス～マニエリスム</td> <td>ブルネッレスキのバツツイ家礼拝堂からミケランジェロのラウレンツィアーナ図書館</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/25</td> <td>水</td> <td>バロック・バラディオ・シンケル</td> <td>ポッロミーニとベルニーニ、バラディオブレ、シンケル</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/2</td> <td>水</td> <td>新素材・新様式・新思想</td> <td>鋳鉄、コンクリート、ガラス デ・スティル、未来派、構成主義、バウハウス等</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/9</td> <td>水</td> <td>近代建築黄金時代</td> <td>ミースのパルセロナ・パヴィリオン、コルビュジェのサヴォア邸 近代建築のエポックメイキングな作品</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/16</td> <td>水</td> <td>ル・コルビュジェの後期作品 アメリカの近代建築</td> <td>晩年残したロンシャンの教会、ミースのモダニズム、 インターナショナルスタイルのジョンソンへとアメリカの近代建築</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/23</td> <td>水</td> <td>アメリカ大陸の二人のルイス、 スキャンジナビア・イギリス</td> <td>カーンとバラガン、 アアルトをはじめとする北欧の作家、イギリスの作家達</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/30</td> <td>水</td> <td>ヨーロッパの個性から現代まで</td> <td>スカルパ、モネオ、シザ、ロッシ コールハース、現代日本の建築家</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/6</td> <td>水</td> <td>レポート課題作成及び プレゼンテーション</td> <td>実施見学のレポートを写真と文で構成、発表する</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/18	水	ルネッサンス～マニエリスム	ブルネッレスキのバツツイ家礼拝堂からミケランジェロのラウレンツィアーナ図書館	12		2	9/25	水	バロック・バラディオ・シンケル	ポッロミーニとベルニーニ、バラディオブレ、シンケル	12		3	10/2	水	新素材・新様式・新思想	鋳鉄、コンクリート、ガラス デ・スティル、未来派、構成主義、バウハウス等	12		4	10/9	水	近代建築黄金時代	ミースのパルセロナ・パヴィリオン、コルビュジェのサヴォア邸 近代建築のエポックメイキングな作品	12		5	10/16	水	ル・コルビュジェの後期作品 アメリカの近代建築	晩年残したロンシャンの教会、ミースのモダニズム、 インターナショナルスタイルのジョンソンへとアメリカの近代建築	12		6	10/23	水	アメリカ大陸の二人のルイス、 スキャンジナビア・イギリス	カーンとバラガン、 アアルトをはじめとする北欧の作家、イギリスの作家達	12		7	10/30	水	ヨーロッパの個性から現代まで	スカルパ、モネオ、シザ、ロッシ コールハース、現代日本の建築家	12		8	11/6	水	レポート課題作成及び プレゼンテーション	実施見学のレポートを写真と文で構成、発表する	12		9							10							11							12							13							14						
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/18	水	ルネッサンス～マニエリスム	ブルネッレスキのバツツイ家礼拝堂からミケランジェロのラウレンツィアーナ図書館	12																																																																																																											
2	9/25	水	バロック・バラディオ・シンケル	ポッロミーニとベルニーニ、バラディオブレ、シンケル	12																																																																																																											
3	10/2	水	新素材・新様式・新思想	鋳鉄、コンクリート、ガラス デ・スティル、未来派、構成主義、バウハウス等	12																																																																																																											
4	10/9	水	近代建築黄金時代	ミースのパルセロナ・パヴィリオン、コルビュジェのサヴォア邸 近代建築のエポックメイキングな作品	12																																																																																																											
5	10/16	水	ル・コルビュジェの後期作品 アメリカの近代建築	晩年残したロンシャンの教会、ミースのモダニズム、 インターナショナルスタイルのジョンソンへとアメリカの近代建築	12																																																																																																											
6	10/23	水	アメリカ大陸の二人のルイス、 スキャンジナビア・イギリス	カーンとバラガン、 アアルトをはじめとする北欧の作家、イギリスの作家達	12																																																																																																											
7	10/30	水	ヨーロッパの個性から現代まで	スカルパ、モネオ、シザ、ロッシ コールハース、現代日本の建築家	12																																																																																																											
8	11/6	水	レポート課題作成及び プレゼンテーション	実施見学のレポートを写真と文で構成、発表する	12																																																																																																											
9																																																																																																																
10																																																																																																																
11																																																																																																																
12																																																																																																																
13																																																																																																																
14																																																																																																																
<p>■履修上の注意事項</p> <p>都心近郊の近代・現代建築を見学。</p> <p>■評価方法</p> <p>平常出席点70%、レポート課題30%</p> <p>■教科書、教材</p> <p>随時、図面や資料を配布するので、しっかり読み込むこと。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>気になる建築を見つけ、実際に見て、体験すること。</p> <p>■教員紹介</p> <p>日本大学大学院で建築を学ぶ。佐藤光彦建築設計事務所 勤務を経て、プラスニューオフィス 一級建築士設計事務所を共同設立。 日本大学理工学部建築学科 非常勤講師。</p> <p>■その他</p> <p>都心近郊の近代・現代建築を見学し、レポートを作成する。 具体的な場所や建築物は未定。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	PC表現	堀口武士	前期	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 IllustratorとPhotoshopを使用し、美しいレイアウトができるとともに、適切な画像処理(合成・補正)が行えるようにする。両方のソフトを使って、正しいデータの作成と保存形式を理解する。							
■到達目標 各ソフトの特徴を理解し、特に画像の扱いと容量の重さを把握できるようにする。スケジュール管理の意識を高める。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/18	木	1年次の復習	Illustratorの操作機能およびPhotoshopの合成	9		
2	4/25	木	IllustratorとPhotoshopの連動ルール再確認	保存形式、リンク機能を用いて、課題制作①	9		
3	5/2	木	IllustratorとPhotoshopの確認課題	今まで習った機能を用いて、課題制作①	9		
4	5/9	木	印刷の仕組み	出力とソフトの詳細設定等について	9		
5	5/16	木	デザインコンペ(アプローチ)	コンペ応募を想定 概要説明	9		
6	5/23	木	デザインコンペ(アプローチ)	コンセプト、スケジュール管理等	9		
7	6/6	木	デザインコンペ(制作)	コンペを通しての技術とデザイン演習-1	9		
8	6/13	木	デザインコンペ(制作)	コンペを通しての技術とデザイン演習-2	9		
9	6/20	木	デザインコンペ(制作)	コンペを通しての技術とデザイン演習-3	9		
10	6/27	木	デザインコンペ(中間報告)	発表3～5分及びチェック	9		
11	7/4	木	デザインコンペ(制作)	コンペを通しての技術とデザイン演習-4	9		
12	7/11	木	デザインコンペ(レイアウト)	コンペを通しての技術とデザイン演習-5	9		
13	7/18	木	デザインコンペ(最終確認)	体裁調整他	9		
14	7/25	木	デザインコンペ(印刷・納品)	入稿データの作成	9		
■履修上の注意事項 遅刻・欠席をしないこと。 また、テキストが無いため、各自ノートにまとめること。							
■評価方法 出席率、授業態度、演習課題・コンペ課題(表現力、技術力)等により、総合的に評価します。							
■教科書、教材 課題1(パンフレット作成)の資料は講師からClassroomを使用し、データの配布、提出物の納品。							
■授業時間以外の学習 時間があれば、ソフトに触る。他課題をイラレ・フォトショを利用。							
■教員紹介 株式会社大林デザインパートナーズにて提案書(入札やデザイン提案)、パンフレットの作成等に15年ほど携わっています。							
■その他 単独コンペや他課題との連動により授業内容が変更になる場合があります。 コンペや課題制作の進行状況に応じて追加課題を検討します。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	ウインドウディスプレイ	白鳥伸一	後期前半	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 空間デザインにおけるショーウインドウの役割と魅力を理解してもらい、プロセスと実践で演出方法を学ぶ。 専門店(商品)、企業(イメージ)の2つの異なるタイプのショーウインドウを発案から制作まで行いショーウインドウを完成させる。							
■到達目標 パート1:各学生ごと 専門店(商品)をイメージした①提案シート制作、②ショーウインドウボックスの制作・撮影・相互評価実施。 パート2:グループワークで、企業をイメージした①提案シート制作、②ショーウインドウボックスの制作・撮影・相互評価実施。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	オリエンテーション	基本レクチャー。参考データ等の共有。ボード制作	12	スチレンボード	
2	10/1	火	パート1プランニング・BOX制作	商品セレクト後、季節感・販促効果、マインドマップ	12		
3	10/8	火	パート1プランニング、デザイン	スケッチ、イメージ画像、素材等決定・・・個別コンサルティング	12	素材購入開始 照明部材用意	
4	10/15	火	パート1制作・プランニングシート	制作上の注意点・・・個別コンサルティング	12		
5	10/22	火	パート1制作・プランニングシート	個別コンサルティング	12		
6	10/29	火	パート1制作・プランニングシート	個別コンサルティング	12		
7	11/5	火	パート1個別撮影・相互評価	個別撮影、相互評価(後日資料化)	12	カメラ等用意	
8	11/12	火	パート2プランニング・BOX制作	商品訴求と企業訴求の違い、テーマ説明、グループ分け・・・グループ別コンサルティング	12	900BOX準備	
9	11/19	火	パート2プランニング、グループワーク	企業決定、理念の理解、デザインコンセプトとイメージKJ法・・・グループ別コンサルティング	12		
10	11/26	火	パート2プランニング・	スケッチ、イメージ画像、素材等決定 制作上の注意点・・・グループ別コンサルティング	12		
11	12/3	火	パート2制作・プランニングシート	グループ別コンサルティング、300BOX個別フィードバック	12		
12	12/10	火	パート2制作・プランニングシート	グループ別コンサルティング	12		
13	12/17	火	パート2制作・プランニングシート	グループ別コンサルティング	12		
14	12/24	火	パート2設営・撮影・発表	2グループ×2回、プレゼンテーションシート使用	12	カメラ等用意	
■履修上の注意事項 他科目との関連を把握させ、ディスプレイの総合的な見方を養うように指導する。 デザイン・制作の実習をメインに、極力各学生の自主性・計画性を尊重しながら進め、不足の部分をサポートするスタイルとする。 知識・技術の伝達以上に、気づき、興味、理解、発想等を引き出す事に主眼をおいて指導する。							
■評価方法 2回の課題制作における評価 ①デザイン(企画・構成・配色・ギミック等)+ ②制作(正確性・丁寧さ・工夫)=60×2 ③資料制作(プレゼンテーションorレポート) =30×2 授業態度・取り組み姿勢・出席等については問題が無ければ基本点。突出して良ければ加点。 =10×2							
■教科書、教材 レジメの他適宜配布する資料。 教材:ショーウインドウBOX。素材については課題制作に当たり各自購入。							
■授業時間以外の学習 外出時商業施設のショーウインドウや各種展示会、素材店、インターネット上の画像等、意識して実例に触れることの推奨。							
■教員紹介 商業施設・店舗・展示ブース等の空間デザイン・VMDが専門。 日本VMD協会正会員、商品装飾展示技能士1級、1級色彩コーディネーター。							
■その他 パート1・・・専門店(商品)ウインドウ Size300×300×300 (上表にて300BOXと表記)各自制作・提出 パート2・・・企業(イメージ)ウインドウ Size900×900×900 (上表にて900BOXと表記) グループワークにて制作・提出							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																															
2年	研究制作2	複数講師	後期前半	午前	必修	演習/実技	42																																																																															
<p>■授業内容</p> <p>授業課題、またはコンペ課題などを各自の自由で制作を行う。 必要があれば授業のフォローとして使う。</p> <p>■到達目標</p> <p>研究制作の時間と学校の施設を有意義に使い各課題やコンペ作品のレベルアップを行う。</p>																																																																																						
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10/31</td><td>木</td><td rowspan="14">・コンペ制作 ・授業課題の制作</td><td rowspan="14">・コンペの日程に準じて制作 ・授業課題の制作</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>11/7</td><td>木</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>11/13</td><td>水</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>11/14</td><td>木</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>11/20</td><td>水</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>11/21</td><td>木</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>11/27</td><td>水</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>11/28</td><td>木</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>12/4</td><td>水</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>12/5</td><td>木</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>12/11</td><td>水</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>12/12</td><td>木</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>12/18</td><td>水</td><td>12</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>12/19</td><td>木</td><td>12</td><td></td></tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	10/31	木	・コンペ制作 ・授業課題の制作	・コンペの日程に準じて制作 ・授業課題の制作	12		2	11/7	木	12		3	11/13	水	12		4	11/14	木	12		5	11/20	水	12		6	11/21	木	12		7	11/27	水	12		8	11/28	木	12		9	12/4	水	12		10	12/5	木	12		11	12/11	水	12		12	12/12	木	12		13	12/18	水	12		14	12/19	木	12	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																
1	10/31	木	・コンペ制作 ・授業課題の制作	・コンペの日程に準じて制作 ・授業課題の制作	12																																																																																	
2	11/7	木			12																																																																																	
3	11/13	水			12																																																																																	
4	11/14	木			12																																																																																	
5	11/20	水			12																																																																																	
6	11/21	木			12																																																																																	
7	11/27	水			12																																																																																	
8	11/28	木			12																																																																																	
9	12/4	水			12																																																																																	
10	12/5	木			12																																																																																	
11	12/11	水			12																																																																																	
12	12/12	木			12																																																																																	
13	12/18	水			12																																																																																	
14	12/19	木			12																																																																																	
<p>■履修上の注意事項</p> <p>提出期限を守り、各自スケジュールを立て制作作業を行う。</p> <p>■評価方法</p> <p>授業と出席率に向かう姿勢を総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>なし。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>図書室で多くの書籍に触れる。</p> <p>■教員紹介</p> <p>複数講師により、他の授業の教員紹介に準ずる。</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																						

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	レポートファイル制作・見学2	清水裕子	前期	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 展覧会などの見学、見学の事前学習、見学レポートの制作。 授業課題のまとめ。							
■到達目標 学校の施設を有意義に使い各課題のレベルアップ、ポートフォリオの制作を行う。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	各自の課題および見学、レポートの制作	・授業課題の制作	12		
2	4/26	金			12		
3	5/10	金	消防訓練		12		
4	5/24	金	各自の課題および見学、レポートの制作		12		
5	6/7	金			12		
6	6/14	金			12		
7	6/28	金			12		
8	7/5	金			12		
9	7/12	金			12		
10	7/19	金			12		
11	7/24	水			12		
12	7/26	金			12	午前	
13	7/26	金			12	午後	
14					各自の課題および見学、レポートの制作	12	後期後半と授業入れ替え
■履修上の注意事項 見学などを行い、見学レポートを制作するが、レポートの正しい書き方を身に付ける。							
■評価方法 レポートの内容、レポートの提出期限、出席を総合的に評価。							
■教科書、教材 なし。							
■授業時間以外の学習 なし。							
■教員紹介 一級建築士、実務経験20年							
■その他 14コマ目は後期後半と授業入れ替え。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	レポートファイル制作・見学2	清水裕子	後期前半	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 展覧会などの見学、見学の事前学習、見学レポートの制作。 授業課題のまとめ。							
■到達目標 学校の施設を有意義に使い、各課題のレベルアップ、ポートフォリオの制作を行う。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/13	金	各自の課題および、 見学レポートの制作	・授業課題の制作	12		
2	9/27	金			12		
3	10/4	金			12		
4	10/11	金			12		
5	10/25	金			12		
6	11/15	金			12		
7	11/22	金			12		
8	11/29	金			12		
9	12/13	金			12		
10	12/20	金	大掃除		12		
11			各自の課題および、 見学レポートの制作		12	後期後半と 授業入れ替え	
12		12					
13		12					
14		12					
■履修上の注意事項 見学などを行い、見学レポートを制作するが、レポートの正しい書き方を身に付ける。							
■評価方法 レポートの内容、レポートの提出期限、出席を総合的に評価。							
■教科書、教材 なし。							
■授業時間以外の学習 なし。							
■教員紹介 一級建築士、実務経験20年							
■その他 11～14コマ目は後期後半と授業入れ替え。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
2年	進級制作2	複数講師	後期後半	午前・午後	必修	演習/実技	123
<p>■授業内容</p> <p>1～2年次に習得した技術知識の集大成として、進級制作を行う。 建築デザイン、店舗デザインから課題を選択し設計デザインを行う。</p> <p>■到達目標</p> <p>1～2年次に習得した技術知識を総合的に使って、計画からプレゼンテーションまで行い実際に使っていく方法を体得する。</p>							
■授業計画							
授業回数	時間数	授業項目	内容			教室	備考
1 2	27	基本設計	・基本計画の確認及び修正			12	担当講師
3 15	50	基本設計	・図面作成			12	担当講師
16 33	18	プレゼンテーション	・模型・パース・ボードの作成			12	担当講師
34 38	9	合評会	・作品のプレゼンテーション ・講師による講評			ギャラリー	複数講師
39 41	19	進級制作ブラッシュアップ	・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備			12	担当講師
<p>■履修上の注意事項</p> <p>短期間に各専門の講師から集中して行う授業ですので、欠席しないように</p> <p>■評価方法</p> <p>発表会でのプレゼンテーションと提出作品を、担当した複数講師により採点を行う。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>建築の作品集・建築雑誌などを読み、発想力・プレゼンテーション力を高める。</p> <p>■教員紹介</p> <p>複数講師により、他の授業の教員紹介に準ずる。</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>							

Space Design _ 3

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	建築デザインB	大野三太	前期	午前	必修	演習/講義	42
■授業内容 実施設計図を作成する。							
■到達目標 2年次に計画した「住宅デザインB」を、実施設計図として描けるようにする。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/17	水	ガイダンス	課題の説明	10		
2	4/24	水	実施設計	平面詳細図の作成.1	10		
3	5/1	水	〃	平面詳細図の作成.2	10		
4	5/8	水	〃	平面詳細図の作成.3	10		
5	5/15	水	〃	平面詳細図の作成.4	10		
6	5/22	水	〃	平面詳細図の作成.5	10		
7	5/29	水	〃	平面詳細図の作成.6	10		
8	6/5	水	〃	断面詳細図の作成.1	10		
9	6/12	水	〃	断面詳細図の作成.2	10		
10	6/19	水	〃	断面詳細図の作成.3	10		
11	6/26	水	〃	断面詳細図の作成.4	10		
12	7/3	水	〃	断面詳細図の作成.5	10		
13	7/10	水	〃	断面詳細図の作成.6	10		
14	7/17	水	〃	図面レイアウト調整・図面プリントアウト	10		
■履修上の注意事項 建築設計での基本的納まりの知識を習得しながら、基本設計した建物の特殊な納まりを検討する。 2級建築士指定科目							
■評価方法 制作物・授業態度・出席その他により総合的に評価。							
■教科書、教材 木造・S造・RC造 デティール集(株式会社エクスナレッジ) プロとして一生使える木造住宅ディテール集(株式会社エクスナレッジ)・必要に応じ配布するコピー							
■授業時間以外の学習 実際に建てられた建築物のディテールを調べて見る。							
■教員紹介 1999年:東洋大学工学部建築学科卒業・1999年:隈研吾建築都市設計事務所勤務・2005年:SH□architects共同設立 2010年:大野三太建築設計事務所に改称 資格:一級建築士(管理建築士)							
■その他 ここで得られる知識を卒業制作にいかしていく。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	構造力学	今川聖英	後期前半	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 建築構造計画において、力が建物に作用する基礎的仕組みを理論的に学び、実際の建築を設計する際に役立つように目指す。演習は二級建築士試験構造力学程度とする。							
■到達目標 静定構造物の単純梁、片持ち梁、トラスなどの応力計算が出来る。又基礎的な断面設計も出来る。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/17	火	ガイダンス	講義内容のガイダンス 力と構造力学の基礎知識	10		
2	10/1	火	力の釣り合いの講義	力の釣り合い、力の合成と分解、モーメント、反力	10		
3	10/8	火	力の釣り合いの演習	演習問題(反力の算定)	10		
4	10/15	火	架構の応力の講義	架構の応力(荷重、反力、応力の算定)	10		
5	10/22	火	架構の応力の演習	演習問題(架構の応力)	10		
6	10/29	火	トラスの講義	トラスの解法の講義	10		
7	11/5	火	トラスの演習	演習問題(トラス他)	10		
8	11/12	火	断面性能に関する講義・演習	断面性能(断面積、断面二次モーメント、断面係数)演習	10		
9	11/19	火	応力度に関する講義	応力度に関する講義、許容応力度計算	10		
10	11/26	火	応力度に関する演習	応力度に関する演習、許容応力度計算の演習	10		
11	12/3	火	座屈に関する講義・演習	座屈に関する講義・演習	10		
12	12/10	火	変形・たわみ	変形・たわみに関する講義と演習	10		
13	12/17	火	総合演習	期末テストの模擬テストを通しての総括した演習	10		
14	12/24	火	期末テスト	授業の総括のテスト	10		
■履修上の注意事項 2級建築士指定科目							
■評価方法 出席点、演習問題の取組み状況及び期末テストの総合評価。							
■教科書、教材 浅野清昭:図説やさしい構造力学(学芸出版社)ほか、配布資料。							
■授業時間以外の学習 数学の基礎知識を復習する。							
■教員紹介 構造設計一級建築士。国内で木造・RC造・鉄骨造他、ネット構造などの構造設計を行う。							
■その他 期末テスト(全体のおさらいテスト)を実施。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
3年	建築施工	丸山裕平	前期	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>建築施工に関連する技術を理解して建築デザインの成り立ちを学ぶ。 建築施工について資格取得のための基礎学習とする。</p> <p>■到達目標</p> <p>建築に関わる施工技術を理解して設計に活用できるようにする。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/10</td> <td>水</td> <td>建築生産</td> <td>建築生産とは何か</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/15</td> <td>月</td> <td>工事請負契約</td> <td>施工者の選定</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/22</td> <td>月</td> <td>着工</td> <td>着工前の仕事の概要</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/13</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>安全衛生管理</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/20</td> <td>月</td> <td>仮設工事・準備工事</td> <td>概説</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/27</td> <td>月</td> <td>土工事、地業</td> <td>概説</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/3</td> <td>月</td> <td>鉄筋コンクリート工事</td> <td>概説</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/10</td> <td>月</td> <td>鉄骨工事</td> <td>概説</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/17</td> <td>月</td> <td>屋根・防水工事</td> <td>屋根工事</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/24</td> <td>月</td> <td>仕上工事</td> <td>仕上工事の考え方</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7/1</td> <td>月</td> <td>〃</td> <td>内装工事</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/8</td> <td>月</td> <td>設備工事</td> <td>設備工事</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/16</td> <td>火</td> <td>完成・引渡し</td> <td>建物の完成</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/22</td> <td>月</td> <td>確認問題 テスト</td> <td>解答・解説</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/10	水	建築生産	建築生産とは何か	10		2	4/15	月	工事請負契約	施工者の選定	10		3	4/22	月	着工	着工前の仕事の概要	10		4	5/13	月	〃	安全衛生管理	10		5	5/20	月	仮設工事・準備工事	概説	10		6	5/27	月	土工事、地業	概説	10		7	6/3	月	鉄筋コンクリート工事	概説	10		8	6/10	月	鉄骨工事	概説	10		9	6/17	月	屋根・防水工事	屋根工事	10		10	6/24	月	仕上工事	仕上工事の考え方	10		11	7/1	月	〃	内装工事	10		12	7/8	月	設備工事	設備工事	10		13	7/16	火	完成・引渡し	建物の完成	10		14	7/22	月	確認問題 テスト	解答・解説	10	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/10	水	建築生産	建築生産とは何か	10																																																																																																											
2	4/15	月	工事請負契約	施工者の選定	10																																																																																																											
3	4/22	月	着工	着工前の仕事の概要	10																																																																																																											
4	5/13	月	〃	安全衛生管理	10																																																																																																											
5	5/20	月	仮設工事・準備工事	概説	10																																																																																																											
6	5/27	月	土工事、地業	概説	10																																																																																																											
7	6/3	月	鉄筋コンクリート工事	概説	10																																																																																																											
8	6/10	月	鉄骨工事	概説	10																																																																																																											
9	6/17	月	屋根・防水工事	屋根工事	10																																																																																																											
10	6/24	月	仕上工事	仕上工事の考え方	10																																																																																																											
11	7/1	月	〃	内装工事	10																																																																																																											
12	7/8	月	設備工事	設備工事	10																																																																																																											
13	7/16	火	完成・引渡し	建物の完成	10																																																																																																											
14	7/22	月	確認問題 テスト	解答・解説	10																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>2級建築士の指定科目</p> <p>■評価方法</p> <p>テスト及び出席とその他を総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>イラストでわかる建築施工(ナツメ社)</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>町中の建物の部位を調べる。</p> <p>■教員紹介</p> <p>大学卒業後、建築設計事務所勤務の後、家業の建築設計事務所・工務店を承継。 主に住宅・店舗の設計施工を行う。一級建築士。</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	エクステリアデザイン	原由紀子	前期	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 住宅及び建築物周囲の最低限の緑化計画が出来るよう、植物の知識から計画まで課題を制作しながら理解する。							
■到達目標 適材適所に植物が配置出来るようにする。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/17	水	オリエンテーション・校外見学	新宿御苑	10		
2	4/24	水	校外見学	横浜みなとみらい アニヴェルセルみなとみらい横浜(結婚式場)～横浜市ガーデンネックレス会場			
3	5/1	水	校外見学	東京都庭園美術館			
4	5/8	水	校外見学	国立新美術館、六本木ヒルズ			
5	5/15	水	校外見学	ののおあやま、東急プラザ、表参道			
6	5/22	水	校外見学	東京パークシティ竹芝見学			
7	5/29	水	校外見学	勝どきか、池袋			
8	6/5	水	校外見学	下北沢周辺見学(ランドフローラ管理物件)			
9	6/12	水	校外見学	立川			
10	6/19	水	講義	設計の基礎①	10		
11	6/26	水	実習	苔テラリウムの制作	10		
12	7/3	水	講義	プレゼンボード作成①	10		
13	7/10	水	講義	プレゼンボード作成②	10		
14	7/17	水	講義	プレゼンボード作成③ プレゼンテーション	10		
■履修上の注意事項 なし。							
■評価方法 課題作品(80 デザイン、見学内容の応用、企画力) プレゼンテーション(20)							
■教科書、教材 なし。							
■授業時間以外の学習 なし。							
■教員紹介 植物との共生をテーマに、植物も人間も心地よい空間を設計、施工をモットーとして行っています。 千葉県生涯大学校 教授							
■その他 今回のプレゼン課題は「山脇の中庭のエクステリアデザイン」となります。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
3年	照明計画	馬場美次	前期	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>基本から具体的な手法まで、インテリア空間での照明の役割を学んでいきます。</p> <p>■到達目標</p> <p>基本的な照明計画(照明デザイン)とプレゼンテーション方法を習得する。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/18</td> <td>木</td> <td>用語と単位</td> <td>照明基本用語</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/25</td> <td>木</td> <td>光源</td> <td>LEDなど光源の種類と特徴</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/2</td> <td>木</td> <td>照明器具-1</td> <td>照明器具の種類と用法</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/9</td> <td>木</td> <td>照明器具-2</td> <td>デザインと光学設計の基礎</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/16</td> <td>木</td> <td>照明計画概論-1</td> <td>基本項目・明るさについて</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/23</td> <td>木</td> <td>照明計画概論-2</td> <td>住宅照明</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/6</td> <td>木</td> <td>ショールーム視察</td> <td>都内ショールーム視察[照明デザインと共同](企業連携授業、(株)ディクラッセ)</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/13</td> <td>木</td> <td>照明計画概論-3</td> <td>店舗照明・施設照明</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/20</td> <td>木</td> <td>DIALux演習[※]</td> <td>照明計画ソフトDIALux実習</td> <td>10</td> <td>3.9.11</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/27</td> <td>木</td> <td>照明計画実習-1</td> <td>照明計画演習</td> <td>10</td> <td>3.9.11</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>7/4</td> <td>木</td> <td>照明計画実習-2</td> <td>照明計画演習</td> <td>10</td> <td>3.9.11</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/11</td> <td>木</td> <td>照明計画実習-3</td> <td>照明計画演習</td> <td>10</td> <td>3.9.11</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/18</td> <td>木</td> <td>照明計画実習-4</td> <td>照明計画演習</td> <td>10</td> <td>3.9.11</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/25</td> <td>木</td> <td>照明計画実習-5</td> <td>照明計画・プレゼンテーション</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/18	木	用語と単位	照明基本用語	10		2	4/25	木	光源	LEDなど光源の種類と特徴	10		3	5/2	木	照明器具-1	照明器具の種類と用法	10		4	5/9	木	照明器具-2	デザインと光学設計の基礎	10		5	5/16	木	照明計画概論-1	基本項目・明るさについて	10		6	5/23	木	照明計画概論-2	住宅照明	10		7	6/6	木	ショールーム視察	都内ショールーム視察[照明デザインと共同](企業連携授業、(株)ディクラッセ)	10		8	6/13	木	照明計画概論-3	店舗照明・施設照明	10		9	6/20	木	DIALux演習[※]	照明計画ソフトDIALux実習	10	3.9.11	10	6/27	木	照明計画実習-1	照明計画演習	10	3.9.11	11	7/4	木	照明計画実習-2	照明計画演習	10	3.9.11	12	7/11	木	照明計画実習-3	照明計画演習	10	3.9.11	13	7/18	木	照明計画実習-4	照明計画演習	10	3.9.11	14	7/25	木	照明計画実習-5	照明計画・プレゼンテーション	10	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/18	木	用語と単位	照明基本用語	10																																																																																																											
2	4/25	木	光源	LEDなど光源の種類と特徴	10																																																																																																											
3	5/2	木	照明器具-1	照明器具の種類と用法	10																																																																																																											
4	5/9	木	照明器具-2	デザインと光学設計の基礎	10																																																																																																											
5	5/16	木	照明計画概論-1	基本項目・明るさについて	10																																																																																																											
6	5/23	木	照明計画概論-2	住宅照明	10																																																																																																											
7	6/6	木	ショールーム視察	都内ショールーム視察[照明デザインと共同](企業連携授業、(株)ディクラッセ)	10																																																																																																											
8	6/13	木	照明計画概論-3	店舗照明・施設照明	10																																																																																																											
9	6/20	木	DIALux演習[※]	照明計画ソフトDIALux実習	10	3.9.11																																																																																																										
10	6/27	木	照明計画実習-1	照明計画演習	10	3.9.11																																																																																																										
11	7/4	木	照明計画実習-2	照明計画演習	10	3.9.11																																																																																																										
12	7/11	木	照明計画実習-3	照明計画演習	10	3.9.11																																																																																																										
13	7/18	木	照明計画実習-4	照明計画演習	10	3.9.11																																																																																																										
14	7/25	木	照明計画実習-5	照明計画・プレゼンテーション	10																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>2級建築士指定科目</p> <p>講義での基礎項目を理解し、照明計画実習に何処まで反映できているか。</p> <p>照明計画実習は各自のプランに合わせて必要な内容を指導する。</p> <p>■評価方法</p> <p>照明計画の内容を評価する。</p> <p>授業の理解度[40%]、応用力・空間に適した手法であるか[30%]、オリジナリティ性・他[30%]を採点のポイントとする。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>主にその都度配布する資料。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>日常生活にある照明を観察し、手法などを確認する。</p> <p>■教員紹介</p> <p>デザイナー・造形作家。武蔵野美術大学彫刻学科卒業。照明メーカーの企画デザイン業務を経て、馬場美次デザイン室設立。アーティスト活動の他、施設や店舗の照明計画、展示会のブース、照明機材の企画開発等、デザイン業務に携わる。</p> <p>■その他</p> <p>DIALux操作はWindowsをインストールした学校のパソコンを使用する。</p> <p>※できればPC教室などで全員操作ができる環境が望ましい。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																		
3年	照明デザイン	馬場美次	前期	午後	必修	演習/講義	21																																																																																																		
<p>■授業内容</p> <p>光の特性を理解し、それを生かした表現を作品として製作する。 各自個別に対応し、製作案をまとめる。 優秀な作品は11月開催の「アカリイマージュ学生展（予定）」への出品がある。</p> <p>■到達目標</p> <p>光の効果を生かした製作ができているか。 表現としての感動を伝えているか。</p>																																																																																																									
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/6</td> <td>木</td> <td>照明表現の可能性</td> <td>光の表現の可能性を紹介</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/13</td> <td>木</td> <td>ショールーム視察</td> <td>都内ショールーム視察 スタジオ・ノイ(株) (株)ディクラッセ(企業連携授業)</td> <td>10</td> <td>都内 ショールーム 見学</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/20</td> <td>木</td> <td>製作-1</td> <td>照明器具の製作</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/27</td> <td>木</td> <td>製作-2</td> <td>照明器具の製作</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>7/4</td> <td>木</td> <td>製作-3</td> <td>照明器具の製作</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7/11</td> <td>木</td> <td>製作-4</td> <td>照明器具の製作</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>7/18</td> <td>木</td> <td>製作-5</td> <td>照明器具の製作</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>7/25</td> <td>木</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>照明器具の製作、及びプレゼンテーション</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	6/6	木	照明表現の可能性	光の表現の可能性を紹介	10		2	6/13	木	ショールーム視察	都内ショールーム視察 スタジオ・ノイ(株) (株)ディクラッセ(企業連携授業)	10	都内 ショールーム 見学	3	6/20	木	製作-1	照明器具の製作	10		4	6/27	木	製作-2	照明器具の製作	10		5	7/4	木	製作-3	照明器具の製作	10		6	7/11	木	製作-4	照明器具の製作	10		7	7/18	木	製作-5	照明器具の製作	10		8	7/25	木	プレゼンテーション	照明器具の製作、及びプレゼンテーション	10		9							10							11							12							13						
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																			
1	6/6	木	照明表現の可能性	光の表現の可能性を紹介	10																																																																																																				
2	6/13	木	ショールーム視察	都内ショールーム視察 スタジオ・ノイ(株) (株)ディクラッセ(企業連携授業)	10	都内 ショールーム 見学																																																																																																			
3	6/20	木	製作-1	照明器具の製作	10																																																																																																				
4	6/27	木	製作-2	照明器具の製作	10																																																																																																				
5	7/4	木	製作-3	照明器具の製作	10																																																																																																				
6	7/11	木	製作-4	照明器具の製作	10																																																																																																				
7	7/18	木	製作-5	照明器具の製作	10																																																																																																				
8	7/25	木	プレゼンテーション	照明器具の製作、及びプレゼンテーション	10																																																																																																				
9																																																																																																									
10																																																																																																									
11																																																																																																									
12																																																																																																									
13																																																																																																									
<p>■履修上の注意事項</p> <p>光をテーマにした作品を製作する。 製作内容は基本自由とするが、各自の表現の考え方に合わせてそれぞれに設定する。 想定した光と、実際の光は異なる場合が多い為、実験などで実現性を確認する。</p> <p>■評価方法</p> <p>製作した照明作品の評価。 表現の秀逸性[40%]、デザイン・光とフォルムのバランス[30%]、オリジナリティ性・他[30%]などを採点のポイントとする。 計画的に製作する工程も評価する。提出日に間に合わない場合は減点とする。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>その都度配布する資料。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>授業の中だけでは製作時間が少ない場合も想定される。進行状況から、自宅などでの追加作業も必要と思われる。</p> <p>■教員紹介</p> <p>デザイナー・造形作家。武蔵野美術大学彫刻学科卒業。照明メーカーの企画デザイン業務を経て、馬場美次デザイン室設立。 アーティスト活動の他、施設や店舗の照明計画、展示会のブース、照明機材の企画開発等、デザイン業務に携わる。</p> <p>■その他</p> <p>安全性を考え、光源はLEDを使用する。 配線不良などによる事故が起きないように、100Vを使用する場合は電源部分の材料は既成品を使用する。</p>																																																																																																									

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
3年	設備計画	深澤 明	後期前半	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>建築環境工学を学び建築を計画するための基礎知識を得る。 建築物における設備の概要や役割について学ぶ。 学んだことを踏まえ観察し考える。</p> <p>■到達目標</p> <p>熱、光、空気など目に見えないものをとらえて建築物を考えることができるようになること。 建築物の中で設備が果たしている役割について理解し自分なりに考えることができるようになること。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/19</td> <td>木</td> <td>ガイダンス 概要</td> <td>設備計画とは 人と建物の関係</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/26</td> <td>木</td> <td>日本の気候について</td> <td>日本の気候の特徴 地形と気候</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/3</td> <td>木</td> <td>太陽光について</td> <td>太陽光 太陽の動きと建物の関係 太陽光と窓の関係</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/10</td> <td>木</td> <td>電気設備①</td> <td>自然光 照明設備</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/17</td> <td>木</td> <td>電気設備②</td> <td>発電 送電 変電 受電 幹線</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/24</td> <td>木</td> <td>給排水衛生設備①</td> <td>給水設備 給湯設備</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/31</td> <td>木</td> <td>給排水衛生設備②</td> <td>水栓 衛生設備 排水設備</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/7</td> <td>木</td> <td>空調換気設備①</td> <td>空気調和設備 換気設備 換気計算</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/14</td> <td>木</td> <td>空調換気設備②</td> <td>熱のとらえ方</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11/21</td> <td>木</td> <td>空調換気設備③</td> <td>断熱 気密結露 空調計画</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>11/28</td> <td>木</td> <td>消火防災 音環境</td> <td>音の性質 遮音吸音 消火設備 防災設備</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/5</td> <td>木</td> <td>環境に関する見学</td> <td>エコプロ見学(予定)</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/12</td> <td>木</td> <td>設備見学</td> <td>山脇ビル設備見学</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>12/19</td> <td>木</td> <td>テスト</td> <td>設備計画学習内容に関するテスト</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/19	木	ガイダンス 概要	設備計画とは 人と建物の関係	10		2	9/26	木	日本の気候について	日本の気候の特徴 地形と気候	10		3	10/3	木	太陽光について	太陽光 太陽の動きと建物の関係 太陽光と窓の関係	10		4	10/10	木	電気設備①	自然光 照明設備	10		5	10/17	木	電気設備②	発電 送電 変電 受電 幹線	10		6	10/24	木	給排水衛生設備①	給水設備 給湯設備	10		7	10/31	木	給排水衛生設備②	水栓 衛生設備 排水設備	10		8	11/7	木	空調換気設備①	空気調和設備 換気設備 換気計算	10		9	11/14	木	空調換気設備②	熱のとらえ方	10		10	11/21	木	空調換気設備③	断熱 気密結露 空調計画	10		11	11/28	木	消火防災 音環境	音の性質 遮音吸音 消火設備 防災設備	10		12	12/5	木	環境に関する見学	エコプロ見学(予定)	10		13	12/12	木	設備見学	山脇ビル設備見学	10		14	12/19	木	テスト	設備計画学習内容に関するテスト	10	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/19	木	ガイダンス 概要	設備計画とは 人と建物の関係	10																																																																																																											
2	9/26	木	日本の気候について	日本の気候の特徴 地形と気候	10																																																																																																											
3	10/3	木	太陽光について	太陽光 太陽の動きと建物の関係 太陽光と窓の関係	10																																																																																																											
4	10/10	木	電気設備①	自然光 照明設備	10																																																																																																											
5	10/17	木	電気設備②	発電 送電 変電 受電 幹線	10																																																																																																											
6	10/24	木	給排水衛生設備①	給水設備 給湯設備	10																																																																																																											
7	10/31	木	給排水衛生設備②	水栓 衛生設備 排水設備	10																																																																																																											
8	11/7	木	空調換気設備①	空気調和設備 換気設備 換気計算	10																																																																																																											
9	11/14	木	空調換気設備②	熱のとらえ方	10																																																																																																											
10	11/21	木	空調換気設備③	断熱 気密結露 空調計画	10																																																																																																											
11	11/28	木	消火防災 音環境	音の性質 遮音吸音 消火設備 防災設備	10																																																																																																											
12	12/5	木	環境に関する見学	エコプロ見学(予定)	10																																																																																																											
13	12/12	木	設備見学	山脇ビル設備見学	10																																																																																																											
14	12/19	木	テスト	設備計画学習内容に関するテスト	10																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>授業は参考図書を良く読むこと。レポート演習等には積極的に取り組み提出すること。 2級建築士指定科目</p> <p>■評価方法</p> <p>レポート演習課題(20%) テスト(30%) 出席率と授業参加姿勢(50%)</p> <p>■教科書、教材</p> <p>最高にわかりやすい建築設備 (エクスナレッジ)</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>学んだことを日々の生活の中、身のまわりの建築で考えること。 学んだことを設計に活かすこと。</p> <p>■教員紹介</p> <p>一級建築士 / 一級建築士事務所 管理建築士</p> <p>■その他</p> <p>※すべての授業でモニター(プロジェクター)を使用</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
3年	材料研究	丸山裕平	後期前半	午後	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>建築材料学を基本として、身近にある素材を集め、その特性を整理する。</p> <p>■到達目標</p> <p>建築に関わる材料を理解し設計に活用できるようにする。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9/19</td> <td>木</td> <td>建築素材概論</td> <td>素材から建築へ</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>9/26</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10/3</td> <td>木</td> <td>メタル素材</td> <td>鉄</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10/10</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10/17</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>ステンレス・アルミニウム</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/24</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>銅・チタン・亜鉛</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>10/31</td> <td>木</td> <td>セラミック素材</td> <td>コンクリート・セメント</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/7</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>11/14</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>石・土</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>11/21</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>レンガ・タイル・瓦</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>11/28</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>ガラス・石膏・漆喰</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>12/5</td> <td>木</td> <td>高分子素材</td> <td>木材・木質材料</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>12/12</td> <td>木</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>12/19</td> <td>木</td> <td>実習</td> <td>植物材料・プラスチック、授業全体の見直し</td> <td>10</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/19	木	建築素材概論	素材から建築へ	10		2	9/26	木	〃	〃	10		3	10/3	木	メタル素材	鉄	10		4	10/10	木	〃	〃	10		5	10/17	木	〃	ステンレス・アルミニウム	10		6	10/24	木	〃	銅・チタン・亜鉛	10		7	10/31	木	セラミック素材	コンクリート・セメント	10		8	11/7	木	〃	〃	10		9	11/14	木	〃	石・土	10		10	11/21	木	〃	レンガ・タイル・瓦	10		11	11/28	木	〃	ガラス・石膏・漆喰	10		12	12/5	木	高分子素材	木材・木質材料	10		13	12/12	木	〃	〃	10		14	12/19	木	実習	植物材料・プラスチック、授業全体の見直し	10	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/19	木	建築素材概論	素材から建築へ	10																																																																																																											
2	9/26	木	〃	〃	10																																																																																																											
3	10/3	木	メタル素材	鉄	10																																																																																																											
4	10/10	木	〃	〃	10																																																																																																											
5	10/17	木	〃	ステンレス・アルミニウム	10																																																																																																											
6	10/24	木	〃	銅・チタン・亜鉛	10																																																																																																											
7	10/31	木	セラミック素材	コンクリート・セメント	10																																																																																																											
8	11/7	木	〃	〃	10																																																																																																											
9	11/14	木	〃	石・土	10																																																																																																											
10	11/21	木	〃	レンガ・タイル・瓦	10																																																																																																											
11	11/28	木	〃	ガラス・石膏・漆喰	10																																																																																																											
12	12/5	木	高分子素材	木材・木質材料	10																																																																																																											
13	12/12	木	〃	〃	10																																																																																																											
14	12/19	木	実習	植物材料・プラスチック、授業全体の見直し	10																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>出席と受講態度及びレポート。</p> <p>■評価方法</p> <p>レポート及び出席その他を総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>図説やさしい建築材料(学芸出版社) 参考書・住生活空間の体験ワークブック(日本建築学会編)</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>街へ出て建物や、身近なものへ関心を寄せる。</p> <p>■教員紹介</p> <p>大学卒業後、建築設計事務所勤務の後、家業の建築設計事務所・工務店を承継。 主に住宅・店舗の設計施工を行う。一級建築士。</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	家具デザイン	山本真也	前期	午後	必修	演習/実技	42
<p>■授業内容</p> <p>1.家具を3面図としてしっかりと捉え、どう視覚化するかを学ぶ。 2.特定の人物を想定しコンセプトに基づいた自由な発想、素材から家具デザインを考える(模型) 3.使用場所を想定し、木材メインでの原寸製作を考慮した家具(ツール)をデザインし製作する(原寸) ※ 2.3はどちらかを選択</p> <p>■到達目標</p> <p>デザインソースの発想、ブラッシュアップからの発展を家具を通し考え、家具と空間の関係もしっかりと捉える。 自分のデザインした家具をしっかりと図面化できるようにし、プレゼン時にどう表現するかを考える。</p>							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/10	水	オリエンテーション	今欲しい家具、作りたい家具スケッチ	10・1		
2	4/15	月	図面1/5・スケッチ作成	今欲しい家具、作りたい家具の図面化(3面図)→提出	10・1		
3	4/22	月	実物からの図面製作-1	校内の椅子の図面化	10・1		
4	5/13	月	実物からの図面製作-2	校内の椅子の図面化→翌週提出	10・1		
5	5/20	月	コンセプト・アイデアスケッチ1	最終モデルに向けたコンセプト立案	10・1		
6	5/27	月	コンセプト・アイデアスケッチ2	最終モデルに向けたコンセプト立案	10・1		
7	6/3	月	コンセプト・アイデアスケッチ3	最終モデルに向けたコンセプト立案→決定	10・1		
8	6/10	月	図面製作(S=1/5)	最終モデル図面製作	10・1		
9	6/17	月	モデル製作(S=1/5)-1	1/5模型 or 原寸製作	10・1		
10	6/24	月	モデル製作(S=1/5)-2	1/5模型 or 原寸製作	10・1		
11	7/1	月	モデル製作(S=1/5)-3	1/5模型 or 原寸製作	10・1		
12	7/8	月	モデル製作(S=1/5)-4	1/5模型 or 原寸製作	10・1		
13	7/16	火	モデル製作(S=1/5)-5	1/5模型 or 原寸製作、プレゼンボード制作	10・1		
14	7/22	月	プレゼンテーション	考えが一番伝わるプレゼンテーションを行う	10・1		
<p>■履修上の注意事項</p> <p>課題の提出期限を厳守。</p> <p>■評価方法</p> <p>レポート・図面の完成度、視点、表現内容を評価採点。 プレゼンテーションの表現方法。 課題50(コンセプト20プレゼン15模型15)ミニ課題20(スケッチ10/ 図面10) 及び 出席・態度30 で評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>校内のデザイナーズチェア、講師用意のプリントetc…。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>なし。</p> <p>■教員紹介</p> <p>デザイン・施工を行う会社で3年間の実務を積み独立。約10年間(株)資生堂と年間契約を結び国内外の店舗デザインなどを担当。 その後飛騨にも拠点を作り、家具ブランドの立ち上げやAparallel店舗のデザイン、プロダクトデザインを行う。</p> <p>■その他</p> <p>※すべての授業でモニタ(プロジェクター)を使用。</p>							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	ディスプレイデザイン	今井晶幸子	後期前半	午後	必修	演習/講義	42
■授業内容 ディ스플레이デザインにおける「展示空間」を展示会のブースデザインを通して理解し、企画、計画、デザイン、プレゼンテーション方法を学ぶ。さまざまな業界(展示会)と企業(出展者)出展商品を選定およびリサーチし、展示品を引き立てる魅力ある空間装飾と展示手法を学ぶ。コンセプト、ゾーニング、装飾デザイン、CAD図面、3Dイメージパースを企画書にまとめる。							
■到達目標 展示会の意義と出展企業の業務内容、出展目的を理解し、出展物を引き立てるような装飾デザインを考える。 展示会場を理解し、来場者を導き入れる導線とブース内の人流(動線)を考慮したレイアウトを完成させる。 Vectorworksを使用した図面作成と3Dイメージパース作成し、コンセプト等を文章でまとめた企画書をIllustratorで作成する。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/12	木	課題説明	展示会と出展企業の選定(リサーチ)、小間位置決め	10		
2	9/24	火	展示会と出展者の選定	各自選定した展示会と出展企業、出展目的を発表。あらゆる意見を聞き、新たなアイデアの種にする。コンセプトを更に発展させる。	10		
3	9/30	月	出展物と出展目的の選定		10		
4	10/7	月	企画づくり・展示手法	出展目的に合わせ展示手法を考える。スケッチ等	10		
5	10/21	月	ゾーニング	導線と動線を考慮したゾーニング作成	10		
6	10/28	月	展示ブース設計	装飾デザインを考える。スケッチ、ラフ図面、ラフイメージパース等	10		
7	11/11	月	展示ブース設計		10		
8	11/18	月	図面作成	Vectorworksを使用して平面図、立面図作成	10		
9	11/25	月	〃	〃	10		
10	12/2	月	3Dイメージパース作成	Vectorworksを使用して作成	10		
11	12/9	月	〃	〃	10		
12	12/16	月	企画書作成	Illustratorを使用して企画書作成	10		
13	12/23	月	〃	〃	10		
14	1/9	木	課題提出、プレゼンテーション	企画書をもとに各自プレゼンテーション	10		
■履修上の注意事項 課題提出期限は厳守。授業計画を理解し、スケジュール管理は各自で行なうこと。 各学生の自主性や計画性を鑑み、不足部分やより良い作品にするためのアドバイスをする形の指導。 自発的にリサーチし、不明点は質問するなど積極性を求めます。							
■評価方法 課題制作における評価 ①コンセプト内容+②デザイン(企画・展示手法・装飾・レイアウト)=60 ③制作(図面・パース・企画書)=30 授業態度・積極性・出席等に問題なければ、1～10の加点。遅刻欠席・授業態度に問題がある場合は、1～40点の減点。							
■教科書、教材 なし。							
■授業時間以外の学習 建築やインテリア、アート企画展や、イベントなどを積極的にリサーチする。今の商業(展示)空間の在り方や環境問題など、社会と大きく関わるデザインに目を向け、その情報の収集を行う。また今後の自身のデザイン力向上のためにも、デザインイメージ、展示手法などの情報をインターネット等で積極的に収集する。							
■教員紹介 ディ스플레이デザイナー。展示会ブース装飾、イベント空間等のデザイン設計業務。ビックサイト等で行われる展示会の企業ブースからアミューズメント施設のアトラクション空間まで数多くの商空間を手掛けている。							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	デザインビジネス論	門倉 正憲	前期	午前	必修	演習/講義	27
■授業内容 実業の空間ビジネスの中で、デザインワークの実務はクリエイティブ活動全体の一部でしかない。 デザインのビジネスプロセスをマーケティングを通じた広い視野で見渡すことによってデザイン能力・知識を必要とする仕事があることを多く知り、その役割とクリエイティブ全体を意識する力を身につけることで実社会における提案力と即戦力を養う。							
■到達目標 デザインビジネスに関連する様々な要素を考慮し、優れたデザインを世に送り出すための手段である企画、開発、リサーチ&マーケティングを理解し、実社会でのビジネスにおける応用力を育成。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/16	火	デザインビジネスの全容	デザインと社会の関わり・デザインビジネスの骨格と考え方	10		
2	4/23	火	空間デザインの仕事	空間デザインにおける様々な職種と業務領域	10		
3	4/30	火	コンセプトワーク	デザインの源泉、コンセプトワークとは？	10		
4	5/7	火	デザインとマーケティング	マーケティングを知る事で見えてくるデザインの社会的役割	10		
5	5/14	火	現代のアドバタイジング	ユーザーに届けるコミュニケーションの仕組み	10		
6	5/21	火	プレゼンテーションとは	魅せるプレゼンテーションとは？プレゼンもデザイン	10		
7	5/28	火	課題実習	企画・コンセプトの組み立て	10		
8	6/4	火	課題実習	デザインの方向性を模索	10		
9	6/11	火	課題実習	伝えるために表現方法の模索	10		
10	6/18	火	発表会	課題を通じて柔軟な発想力とプレゼン力を育てる	10		
11							
12							
13							
14							
■履修上の注意事項 課題の提出期限を厳守							
■評価方法 ①情報の整理能力・・・問題の掘り下げが出来ているか？ ②問題の解決力と発想力・・・明確な目的設定とコンセプト立案 ③視覚伝達能力・・・企画コンセプトを魅力的にビジュアル訴求できているか？ ④ブランディング能力・・・様々なコミュニケーションデザインの組立て ⑤パフォーマンス能力・・・魅力的なプレゼンテーション各能力を総合的に評価する。							
■教科書、教材 各授業ごとのテキスト資料配布							
■授業時間以外の学習 なし。							
■教員紹介 クリエイティブディレクターとして、コンセプト立案から様々なコミュニケーションデザインを提案。 インテリア・グラフィック・パッケージなど、ジャンルの垣根を越えた幅広いクリエイティブの現場を経験しています。							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
3年	CG B	菊地 臨	前期	午後	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容 コンピュータを活用した、プレゼンテーション表現、技法、技術の習得。</p> <p>■到達目標 Photoshop、Illustratorの高度な使用方法の習熟。 特に画像データの仕組みや扱い、その他パソコンに関する様々な知識を得る。 自分の考え(デザイン)を、より正しく効果的に伝える力をつける。</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/16</td> <td>火</td> <td>画像データについて</td> <td>解像度について 筆記試験</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4/23</td> <td>火</td> <td>Photoshop課題</td> <td>ワンルーム内観CG制作</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4/30</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5/7</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5/14</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5/21</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5/28</td> <td>火</td> <td>Illustrator応用</td> <td>初級レベルを確認しながら、上位レベルを習熟</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6/4</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6/11</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6/18</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6/25</td> <td>火</td> <td>レンダリング</td> <td>3DCGの制作過程の再確認</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>7/2</td> <td>火</td> <td>プレゼ手法2</td> <td>Illustrator、Photoshopによるプレゼボード制作の手法</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7/9</td> <td>火</td> <td>〃</td> <td>〃</td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7/23</td> <td>火</td> <td>まとめ</td> <td>質問・補足・その他</td> <td>9</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項 各自のPCのメンテ、データの整理やバックアップをしっかりとすること。</p> <p>■評価方法 理解度(30)、課題の取組み姿勢(20)、課題成果品(10)、出席・その他(40)</p> <p>■教科書、教材 各自PC、バックアップ用HDD、ノート、筆記具</p> <p>■授業時間以外の学習 なし。</p> <p>■教員紹介 2002年から現在まで10社ほどの会社で建築設計実務に従事。</p> <p>■その他 グレースケールの内観CGを素材に、インテリアを自由にデザインしながら、Photoshopの各機能を習熟する。</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/16	火	画像データについて	解像度について 筆記試験	9		2	4/23	火	Photoshop課題	ワンルーム内観CG制作	9		3	4/30	火	〃	〃	9		4	5/7	火	〃	〃	9		5	5/14	火	〃	〃	9		6	5/21	火	〃	〃	9		7	5/28	火	Illustrator応用	初級レベルを確認しながら、上位レベルを習熟	9		8	6/4	火	〃	〃	9		9	6/11	火	〃	〃	9		10	6/18	火	〃	〃	9		11	6/25	火	レンダリング	3DCGの制作過程の再確認	9		12	7/2	火	プレゼ手法2	Illustrator、Photoshopによるプレゼボード制作の手法	9		13	7/9	火	〃	〃	9		14	7/23	火	まとめ	質問・補足・その他	9	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	4/16	火	画像データについて	解像度について 筆記試験	9																																																																																																											
2	4/23	火	Photoshop課題	ワンルーム内観CG制作	9																																																																																																											
3	4/30	火	〃	〃	9																																																																																																											
4	5/7	火	〃	〃	9																																																																																																											
5	5/14	火	〃	〃	9																																																																																																											
6	5/21	火	〃	〃	9																																																																																																											
7	5/28	火	Illustrator応用	初級レベルを確認しながら、上位レベルを習熟	9																																																																																																											
8	6/4	火	〃	〃	9																																																																																																											
9	6/11	火	〃	〃	9																																																																																																											
10	6/18	火	〃	〃	9																																																																																																											
11	6/25	火	レンダリング	3DCGの制作過程の再確認	9																																																																																																											
12	7/2	火	プレゼ手法2	Illustrator、Photoshopによるプレゼボード制作の手法	9																																																																																																											
13	7/9	火	〃	〃	9																																																																																																											
14	7/23	火	まとめ	質問・補足・その他	9																																																																																																											

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																									
3年	3D CAD B	菊地 臨	後期前半	午前	必修	演習/講義	42																																																																																																									
<p>■授業内容</p> <p>3DCAD-Aで身につけた基本を踏まえた上で、さらに高度な知識と応用操作を学ぶ。</p> <p>■到達目標</p> <p>多様な要素を持つ建築物のモデリング、レンダリングを行い、そこから様々な情報を引き出し表現する方法を身につける。</p>																																																																																																																
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>9/12</td><td>木</td><td>応用操作-1</td><td>ストーリー</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td>9/24</td><td>火</td><td>応用操作-2</td><td>構成要素、スタイル</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td>9/30</td><td>月</td><td>応用操作-3</td><td>プラグインオブジェクト、レコード、レポート</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td>10/7</td><td>月</td><td>応用操作-4</td><td>情報の可視化、詳細レベル、スペース</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td>10/21</td><td>月</td><td>応用操作-5</td><td>面配列、地形モデル</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>6</td><td>10/28</td><td>月</td><td>課題-1</td><td>集合住宅(モデリング-1)</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>7</td><td>11/11</td><td>月</td><td>課題-1</td><td>集合住宅(モデリング-2)</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>8</td><td>11/18</td><td>月</td><td>課題-1</td><td>集合住宅(モデリング-3)</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>9</td><td>11/25</td><td>月</td><td>課題-1</td><td>集合住宅(詳細ビューポート等)</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>10</td><td>12/2</td><td>月</td><td>課題-2</td><td>複合施設(モデリング-1)</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>11</td><td>12/9</td><td>月</td><td>課題-2</td><td>複合施設(モデリング-2)</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>12</td><td>12/16</td><td>月</td><td>課題-2</td><td>複合施設(モデリング-3)</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>13</td><td>12/23</td><td>月</td><td>課題-2</td><td>複合施設(シートレイアウト等)</td><td>9</td><td></td></tr> <tr><td>14</td><td>1/9</td><td>木</td><td>応用操作-6</td><td>VR(WEBビュー3D取り出し)、その他</td><td>9</td><td></td></tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	9/12	木	応用操作-1	ストーリー	9		2	9/24	火	応用操作-2	構成要素、スタイル	9		3	9/30	月	応用操作-3	プラグインオブジェクト、レコード、レポート	9		4	10/7	月	応用操作-4	情報の可視化、詳細レベル、スペース	9		5	10/21	月	応用操作-5	面配列、地形モデル	9		6	10/28	月	課題-1	集合住宅(モデリング-1)	9		7	11/11	月	課題-1	集合住宅(モデリング-2)	9		8	11/18	月	課題-1	集合住宅(モデリング-3)	9		9	11/25	月	課題-1	集合住宅(詳細ビューポート等)	9		10	12/2	月	課題-2	複合施設(モデリング-1)	9		11	12/9	月	課題-2	複合施設(モデリング-2)	9		12	12/16	月	課題-2	複合施設(モデリング-3)	9		13	12/23	月	課題-2	複合施設(シートレイアウト等)	9		14	1/9	木	応用操作-6	VR(WEBビュー3D取り出し)、その他	9	
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																										
1	9/12	木	応用操作-1	ストーリー	9																																																																																																											
2	9/24	火	応用操作-2	構成要素、スタイル	9																																																																																																											
3	9/30	月	応用操作-3	プラグインオブジェクト、レコード、レポート	9																																																																																																											
4	10/7	月	応用操作-4	情報の可視化、詳細レベル、スペース	9																																																																																																											
5	10/21	月	応用操作-5	面配列、地形モデル	9																																																																																																											
6	10/28	月	課題-1	集合住宅(モデリング-1)	9																																																																																																											
7	11/11	月	課題-1	集合住宅(モデリング-2)	9																																																																																																											
8	11/18	月	課題-1	集合住宅(モデリング-3)	9																																																																																																											
9	11/25	月	課題-1	集合住宅(詳細ビューポート等)	9																																																																																																											
10	12/2	月	課題-2	複合施設(モデリング-1)	9																																																																																																											
11	12/9	月	課題-2	複合施設(モデリング-2)	9																																																																																																											
12	12/16	月	課題-2	複合施設(モデリング-3)	9																																																																																																											
13	12/23	月	課題-2	複合施設(シートレイアウト等)	9																																																																																																											
14	1/9	木	応用操作-6	VR(WEBビュー3D取り出し)、その他	9																																																																																																											
<p>■履修上の注意事項</p> <p>授業中に作成したCADデータを授業終了時に提出していただくことがあります。 データのバックアップ(保存:⌘+S)は授業中でもこまめに取りるようにしてください。</p> <p>■評価方法</p> <p>出席日数の他、各提出物毎に理解力、技術力、表現力、応用力を総合的に評価。 (課題1:35%、課題2:35%、授業中に作成したCADデータ:5%、その他出席状況等:25%)</p> <p>■教科書、教材</p> <p>PDF資料、Vectorworks教材を授業前に配布</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>■教員紹介</p> <p>2002年から現在まで10社ほどの会社で建築設計実務に従事。</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																																																																																																

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	研究制作 3	複数講師	前期	午前・午後	必修	演習/実技	72
■授業内容 授業課題、またはコンペ課題などを各自の自由で制作を行う。 ・資格試験用の補講授業などを行う。 必要があれば授業のフォローとして使う。							
■到達目標 自由制作の時間と学校の施設を有意義に使い、各課題やコンペ作品のレベルアップを行う。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	・コンペ制作 ・授業課題の制作	・コンペの日程に準じて制作 ・授業課題の制作	10		
2	4/18	木			10		
3	4/19	金			10		
4	4/25	木			10		
5	4/26	金			10		
6	5/2	木			10		
7	5/9	木			10		
8	5/10	金			10		
9	5/16	木			10		
10	5/17	金			10		
11	5/23	木			10		
12	5/24	金			10		
13	6/7	金			10		
14	6/14	金			10		
15	6/21	金			10		
16	6/25	火			10		
17	6/28	金			10		
18	7/2	火			10		
19	7/5	金			10		
20	7/9	火			10		
21	7/12	金			10		
22	7/19	金			10		
23	7/23	火			10		
24	7/24	水			10		
■履修上の注意事項 提出期限を守り、各自スケジュールを立て制作作業を行う。				■授業時間以外の学習 なし。			
■評価方法 授業と出席率に向かう姿勢を総合的に評価。				■教員紹介 複数講師により、他の授業の教員紹介に準ずる。			
■教科書、教材 なし。				■その他 なし。			

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																															
3年	研究制作 3	複数講師	後期前半	午前	必修	演習/実技	24																																																																															
<p>■授業内容</p> <p>授業課題、またはコンペ課題などを各自の自由で制作を行う。 資格試験用の補講授業などを行う。 必要があれば授業のフォローとして使う。</p> <p>■到達目標</p> <p>自由制作の時間と学校の施設を有意義に使い、各課題やコンペ作品のレベルアップを行う。</p>																																																																																						
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>11/22</td> <td>金</td> <td rowspan="14"> ・コンペ制作 ・授業課題の制作 </td> <td rowspan="14"> ・コンペの日程に準じて制作 ・授業課題の制作 </td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>11/29</td> <td>金</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>12/6</td> <td>金</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>12/13</td> <td>金</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12/20</td> <td>金</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>1/10</td> <td>金</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	11/22	金	・コンペ制作 ・授業課題の制作	・コンペの日程に準じて制作 ・授業課題の制作	10		2	11/29	金	10		3	12/6	金	10		4	12/13	金	10		5	12/20	金	10		6	1/10	金	10		7					8					9					10					11					12					13					14				
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																
1	11/22	金	・コンペ制作 ・授業課題の制作	・コンペの日程に準じて制作 ・授業課題の制作	10																																																																																	
2	11/29	金			10																																																																																	
3	12/6	金			10																																																																																	
4	12/13	金			10																																																																																	
5	12/20	金			10																																																																																	
6	1/10	金			10																																																																																	
7																																																																																						
8																																																																																						
9																																																																																						
10																																																																																						
11																																																																																						
12																																																																																						
13																																																																																						
14																																																																																						
<p>■履修上の注意事項</p> <p>提出期限を守り、各自スケジュールを立て制作作業を行う。</p> <p>■評価方法</p> <p>授業に向かう姿勢と出席率を総合的に評価。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>なし。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>なし。</p> <p>■教員紹介</p> <p>複数講師により、他の授業の教員紹介に準ずる。</p> <p>■その他</p> <p>上記以外の2コマ分は学内で制作活動を行う。</p>																																																																																						

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	色彩B	榎 芳栄	後期前半	午前	必修	演習/講義	24
■授業内容 様々な分野で多様性が求められる時代、色覚の多様性に配慮した誰もが見やすい配色について学ぶ。 建築士等資格試験で出題される「マンセル表色系」をはじめ、UCに関係する表色系や規格について理解する。 インテリアの色彩、環境色彩については色彩検定2級範囲も含む。							
■到達目標 色彩検定UC級(UCアドバイザー)合格							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/13	金	ガイダンス 色の表示	色のユニバーサルデザインの概要 色の表し方・三属性・トーン・色名	10	検定申込 8/5~10/3	
2	9/20	金	光源と物体と視覚	色が見えるしくみ可視光・色覚説・色覚異常	10		
3	9/27	金	色覚の多様性	色覚の多様性の体験混同色と色誤認・色度図・色覚の遺伝	10		
4	10/4	金	高齢化社会と色彩	高齢者の色の見え方インテリアの色彩と生活における色の役割	10		
5	10/11	金	色彩設計の進め方	色のユニバーサルデザインの事例環境色彩・色の機能・配色技法	10		
6	10/25	金	検定直前対策1	総復習・項目別出題傾向・模擬問題・答え合わせ・解説・質疑応答	10		
7	11/8	金	検定直前対策2	総復習・項目別出題傾向・模擬問題・答え合わせ・解説・質疑応答	10	検定UC級 11/10	
8	11/15	金	色の視覚効果	錯視的現象の体験カラーコーディネーションと色彩演習	10		
9							
10							
11							
12							
13							
14							
■履修上の注意事項 授業に必要なテキスト・教材を必ず持ってくること。							
■評価方法 色彩検定の結果・授業態度(取り組み姿勢)・課題提出・出席状況などにより評価する。							
■教科書, 教材 教科書: 色彩検定公式テキストUC級編 教材: 日本色研新配色カード(1年次のもの)・授業で配布する資料・模擬問題・のり・はさみ *毎回プロジェクターを使用, PCを持参し色を確認しながら受講することが望ましい・ホワイトボード・PC(Powerpoint)							
■授業時間以外の学習 暗記が必要な項目は, 授業時間外の自習を心がける。							
■教員紹介 日本色彩学会色彩教材研究会幹事 資格: 色彩検定協会色彩検定1級 / 全国美術デザイン教育振興会COLOR MASTER 色彩士検定1級 東京商工会議所検定試験カラーコーディネーター1級(環境色彩) 日本ファッション教育振興協会ファッション色彩能力検定1級 / 二級建築士							
■その他 理論の学習と演習を組み合わせ授業を行います。 色はとても身近な存在です。色を味方につけましょう。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	レポートファイル制作・ 見学・就職講座3	清水裕子	前期	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 展覧会などの見学、見学レポートの制作。							
■到達目標 学校の施設を有意義に使い、各課題のレベルアップ、ポートフォリオの制作を行う。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	4/12	金	各自の課題および見学、 レポートの制作	授業課題の制作	10		
2	4/19	金			10		
3	4/26	金			10		
4	5/10	金			10		
5	5/17	金			10		
6	5/24	金			10		
7	6/7	金			10		
8	6/14	金			10		
9	6/21	金			10		
10	6/28	金			10		
11	7/5	金			10		
12	7/12	金			10		
13	7/19	金			10		
14	7/24	水			10		
■履修上の注意事項 見学などを行い、見学レポートを制作するが、レポートの正しい書き方を身に付ける。							
■評価方法 レポートの内容、レポートの提出期限、出席を総合的に評価。							
■教科書、教材 なし。							
■授業時間以外の学習 なし。							
■教員紹介 一級建築士、実務経験20年。							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	レポートファイル制作・ 見学・就職講座3	清水裕子	後期前半	午後	必修	演習/実技	42
■授業内容 展覧会などの見学、見学前の事前学習、見学レポートの制作。							
■到達目標 学校の施設を有意義に使い、各課題のレベルアップ、ポートフォリオの制作を行う。							
■授業計画							
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	
1	9/13	金	各自の課題および見学、 レポートの制作	授業課題の制作	10		
2	9/20	金			10		
3	9/25	水			10		
4	10/4	金			10		
5	10/9	水			10		
6	10/23	水			10		
7	11/6	水			10		
8	11/15	金			10		
9	11/20	水			10		
10	11/29	金			10		
11	12/4	水			10		
12	12/13	金			10		
13	12/18	水			10		
14	1/10	金			10		
■履修上の注意事項 見学などを行い、見学レポートを制作するが、レポートの正しい書き方を身に付ける。							
■評価方法 レポートの内容、レポートの提出期限、出席を総合的に評価。							
■教科書、教材 なし。							
■授業時間以外の学習 なし。							
■教員紹介 一級建築士、実務経験20年。							
■その他 なし。							

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	建築計画ゼミ	下門 英治	後期前半	午前・午後	選択	演習/講義	126

■授業内容

施設内容、テーマを各自が設定し、その建物の基本設計をする。

■到達目標

ひとつの建築を全体計画から詳細設計までをまとめる。

■授業計画

	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考
1・2	9/18	水	ガイダンス	テーマを検討	10	
3	9/25	水		テーマの決定	10	
4・5	10/2	水	研究	設計条件の整理	10	
6	10/9	水	基本構想	基本構想	10	
7・8	10/16	水	基本計画	平面図の作成	10	
9	10/23	水	〃	〃	10	
10・11	10/30	水	〃	断面図の作成	10	
12	11/6	水	〃	〃	10	
13・14	11/13	水	〃	立面図の作成	10	
15	11/20	水	〃	〃	10	
16・17	11/27	水	〃	スタディ模型の作成	10	
18	12/4	水	〃	〃	10	
19・20	12/11	水	〃	平面詳細図の作成	10	
21	12/18	水	〃	〃	10	

■履修上の注意事項

決めたテーマをいかに研究し、自分なりの捉え方、表現で他の人に理解させうるものができるか。

■評価方法

授業に向かう姿勢、レポート(中間プレゼン等)、出席を総合的に評価。

構築した空間を設計図書としていかに正確に表現できているか。

■教科書、教材

必要に応じ配布するコピー。

■授業時間以外の学習

現実にある様々な建築の細部を良く観察する。

■教員紹介

カキノミファームアーキテクトゥー級建築士事務所勤務。

主な作品に [3つの内倉と8つの屋根](住宅 2018年 グッドデザイン賞 受賞)など

■その他

時間数126時間の内、63時間(授業回数21回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応。

それ以外の63時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る。

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数
3年	店舗計画ゼミ	高山不二夫	後期前半	午前・午後	選択	演習/講義	126

■授業内容

図面の読解力を身に付け、プロを目指す高度な図面制作力を養う。
立地条件及び周囲の環境を配慮し、複合的商業施設計画を創造する。仕上材、設備等の細部までを把握し、図面制作する。

■到達目標

これまで学んできた建築全般の知識や技術を生かし、制約がある中、その問題点を柔軟に解決できる能力と創造性を身につける。

■授業計画

週	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考
1	9/17	火	立地計画の概要		10	
2	9/27	金	同上		10	
3	10/1	火	全体計画と立体創造		10	
4	10/8	火	同上		10	
5	10/11	金	同上		10	
6	10/15	火	配置計画と施設規模		10	
7	10/22	火	同上		10	
8	10/25	金	同上		10	
9	10/29	火	平面計画		10	
10	11/5	火	同上		10	
11	11/8	金	同上		10	
12	11/12	火	同上		10	
13	11/19	火	同上		10	
14	11/22	金	立面計画		10	
15	11/26	火	同上		10	
16	12/3	火	同上		10	
17	12/6	金	展開断面画		10	
18	12/10	火	同上		10	
19	12/17	火	同上		10	
20	12/20	金	同上		10	
21	12/24	火	同上		10	

■履修上の注意事項

全ての図面制作はCAD仕様。

■評価方法

全体計画・コンセプト・フロアーリーシング・各商業施設計画と全ての図面の完成度と出席その他によって総合的に評価。

■教科書、教材

■授業時間以外の学習

計画する地域等の事前調査は夏休み中に行っておくこと。
商業施設・複合商業施設などの調査を行っておくこと。

■教員紹介

高山不二夫デザイン研究所・代表取締役所長、ショップデザイン中心に美術館展覧会会場構成、茶室・住宅設計を手掛ける。
マイスター商業施設士。

■その他

時間数126時間の内、63時間(授業回数21回×3時限)は上記の通り担当講師が出校対応。
それ以外の63時間は上記の授業計画に準じて制作を行い、スケジュールの自己管理を図る。

SD	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																				
3年	卒業制作	複数講師	後期後半	午前・午後	必修	演習/実技	150																																				
<p>■授業内容</p> <p>1～3年次に習得した技術知識の集大成として、卒業制作を行う。 建築計画、店舗計画から課題を選択し設計デザインを行う。</p> <p>■到達目標</p> <p>1～3年次に習得した技術知識を総合的に使って、計画からプレゼンテーションまで行い実際に使っていく方法を体得する。 実践で通用する技術と知識を習得する。</p>																																											
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>授業回数</th> <th>時間数</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 2</td> <td>6</td> <td>基本設計</td> <td>・基本計画の確認及び修正(中間プレゼン)</td> <td>10</td> <td>担当講師</td> </tr> <tr> <td>3 8</td> <td>18</td> <td>基本設計</td> <td>・図面作成</td> <td>10</td> <td>担当講師</td> </tr> <tr> <td>9 38</td> <td>90</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>・模型・パース・ボードの作成</td> <td>10</td> <td>担当講師</td> </tr> <tr> <td>39 43</td> <td>15</td> <td>合評会</td> <td>・作品のプレゼンテーション・講師による講評</td> <td>ギャラリー</td> <td>複数講師</td> </tr> <tr> <td>44 50</td> <td>21</td> <td>進級制作ブラッシュアップ</td> <td>・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備</td> <td>10</td> <td>担当講師</td> </tr> </tbody> </table>								授業回数	時間数	授業項目	内容	教室	備考	1 2	6	基本設計	・基本計画の確認及び修正(中間プレゼン)	10	担当講師	3 8	18	基本設計	・図面作成	10	担当講師	9 38	90	プレゼンテーション	・模型・パース・ボードの作成	10	担当講師	39 43	15	合評会	・作品のプレゼンテーション・講師による講評	ギャラリー	複数講師	44 50	21	進級制作ブラッシュアップ	・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備	10	担当講師
授業回数	時間数	授業項目	内容	教室	備考																																						
1 2	6	基本設計	・基本計画の確認及び修正(中間プレゼン)	10	担当講師																																						
3 8	18	基本設計	・図面作成	10	担当講師																																						
9 38	90	プレゼンテーション	・模型・パース・ボードの作成	10	担当講師																																						
39 43	15	合評会	・作品のプレゼンテーション・講師による講評	ギャラリー	複数講師																																						
44 50	21	進級制作ブラッシュアップ	・合評会での講師による講評を受け、完成度を高める ・卒業進級制作作品展のための作品展示準備	10	担当講師																																						
<p>■履修上の注意事項</p> <p>短期間に各専門の講師から集中して行う授業ですので、欠席しないように。</p> <p>■評価方法</p> <p>提出作品とそのプレゼンテーションを合評会でプレゼンし、担当した複数講師により総合的に判断する。</p> <p>■教科書、教材</p> <p>なし。</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>なし。</p> <p>■教員紹介</p> <p>複数講師により、他の授業の教員紹介に準ずる。</p> <p>■その他</p> <p>なし。</p>																																											

就職講座・課外授業/3科共通

各科共通	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																																		
1年	就職講座1	大岡 歩夢	前期/後期前半	午後	必修	演習/講義	27																																																																																																		
<p>■授業内容</p> <p>就活に関する基礎的な準備資料を早期に完成させる 経団連の新卒採用調査1位のコミュニケーションスキルを基礎、デジタル、実践、チームビルディングの観点から学ぶ</p> <p>■到達目標</p> <p>ビジネス基本ソフトの習得、ビジネススキルの習得、税金/保険/法律の基礎知識の習得 業界職種への考察とモチベーションの向上をはかる</p>																																																																																																									
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/26</td> <td>金</td> <td>InternetとPC基礎</td> <td>インターネット/SNSの使い方と仕組み理解/ブラウザやメールの安全な使い方/ビジネスメールの文章構造/他</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/24</td> <td>金</td> <td>Officeソフト習得</td> <td>Officeソフトの理解/ワードの使い方/ワードでの演習</td> <td>オンライン</td> <td>am</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>金</td> <td>Officeソフト習得</td> <td>エクセルの仕組み理解/エクセルの使い方/エクセルでの演習</td> <td>オンライン</td> <td>am</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7/29</td> <td>月</td> <td>Officeソフト習得</td> <td>パワーポイントの理解/パワーポイントの使い方/パワーポイントでの演習</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/27</td> <td>金</td> <td>業界職種研究</td> <td>働く理由の理解/会社の仕組みを理解/会社の探し方/就職活動の実際のステップ/他</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/18</td> <td>金</td> <td>ビジネススキル</td> <td>コミュニケーションの理解/会社におけるコミュニケーションの実態 報連相/自己紹介と他已紹介</td> <td>オンライン</td> <td>am</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/22</td> <td>金</td> <td>業界職種研究と自己適性</td> <td>仕事のやりがいと自己適性、業界特徴の理解</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>企業担当者対応</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/6</td> <td>金</td> <td>ビジネススキル</td> <td>オンラインコミュニケーションの基礎を理解する 実際のオンラインでのチームワークの演習を体験する</td> <td>オンライン</td> <td>am</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1/17</td> <td>金</td> <td>ビジネススキル</td> <td>業界変化を理解する マーケティングとDX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎知識</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/26	金	InternetとPC基礎	インターネット/SNSの使い方と仕組み理解/ブラウザやメールの安全な使い方/ビジネスメールの文章構造/他	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD	2	5/24	金	Officeソフト習得	Officeソフトの理解/ワードの使い方/ワードでの演習	オンライン	am	3	6/21	金	Officeソフト習得	エクセルの仕組み理解/エクセルの使い方/エクセルでの演習	オンライン	am	4	7/29	月	Officeソフト習得	パワーポイントの理解/パワーポイントの使い方/パワーポイントでの演習	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD	5	9/27	金	業界職種研究	働く理由の理解/会社の仕組みを理解/会社の探し方/就職活動の実際のステップ/他	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD	6	10/18	金	ビジネススキル	コミュニケーションの理解/会社におけるコミュニケーションの実態 報連相/自己紹介と他已紹介	オンライン	am	7	11/22	金	業界職種研究と自己適性	仕事のやりがいと自己適性、業界特徴の理解	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応	8	12/6	金	ビジネススキル	オンラインコミュニケーションの基礎を理解する 実際のオンラインでのチームワークの演習を体験する	オンライン	am	9	1/17	金	ビジネススキル	業界変化を理解する マーケティングとDX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎知識	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																												
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																																			
1	4/26	金	InternetとPC基礎	インターネット/SNSの使い方と仕組み理解/ブラウザやメールの安全な使い方/ビジネスメールの文章構造/他	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																			
2	5/24	金	Officeソフト習得	Officeソフトの理解/ワードの使い方/ワードでの演習	オンライン	am																																																																																																			
3	6/21	金	Officeソフト習得	エクセルの仕組み理解/エクセルの使い方/エクセルでの演習	オンライン	am																																																																																																			
4	7/29	月	Officeソフト習得	パワーポイントの理解/パワーポイントの使い方/パワーポイントでの演習	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																			
5	9/27	金	業界職種研究	働く理由の理解/会社の仕組みを理解/会社の探し方/就職活動の実際のステップ/他	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																			
6	10/18	金	ビジネススキル	コミュニケーションの理解/会社におけるコミュニケーションの実態 報連相/自己紹介と他已紹介	オンライン	am																																																																																																			
7	11/22	金	業界職種研究と自己適性	仕事のやりがいと自己適性、業界特徴の理解	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応																																																																																																			
8	12/6	金	ビジネススキル	オンラインコミュニケーションの基礎を理解する 実際のオンラインでのチームワークの演習を体験する	オンライン	am																																																																																																			
9	1/17	金	ビジネススキル	業界変化を理解する マーケティングとDX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎知識	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD,JD																																																																																																			
<p>■履修上の注意事項</p> <p>オンラインでの履修は、Macのカメラを必ずONにしてください。 動作安定性向上のため、事前にZOOMおよびChromeは起動して、アップデート/再起動をしておいてください。</p> <p>■評価方法</p> <p>授業態度(オンラインの場合、特段の理由がない限りカメラがオフの場合は欠席と見なします) 出席率 課題提出</p> <p>■教科書、教材</p> <p>GoogleClassroom経由で適時配布</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>配付資料による復習</p> <p>■教員紹介</p> <p>日本印刷技術協会 認定講師、提案型ウェブアナリスト、一般社団法人 日本ウェブアクセシビリティ協会 理事 大手建材メーカー、大手食品FC、大手広告代理店、大手家電メーカー、大手商社、海外家具メーカー、企業研修および業務実績多数</p> <p>■その他</p>																																																																																																									

各科共通	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必修/選択	授業形態	時間数																																																																																				
2年	就職講座2	長井 和代	前期/後期前半	午前・午後	必修	演習/講義	27																																																																																				
<p>就活に関する基礎的な準備資料を早期に完成させる</p> <p>■到達目標</p> <p>自己PR、志望動機、業界職種研究、履歴書完成に向けて、自分自身の特性の理解や業界職種の知識を深める 早い段階での就活や夏休みのインターンに向けて準備を整える</p> <p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月日</th> <th>曜日</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> <th>教室</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/19</td> <td>金</td> <td>業界・職種研究</td> <td>就職活動のスケジュールの確認、2年生でやっておくべきこと 業界・職種研究(自分の方向性を考え、インターン先を検討する)</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD・JD</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/17</td> <td>金</td> <td>自己分析・履歴書作成 インターンシップについて</td> <td>自己分析の方法、履歴書への繋げ方 インターンシップについて(応募方法、インターンに参加する意義)</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD・JD</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/21</td> <td>金</td> <td>ビジネスマナー・敬語 面接対策①</td> <td>インターン参加にあたってのビジネスマナーの確認 インターン選考に臨む上での面接対策(面接の基礎知識)</td> <td>オンライン</td> <td>pm</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7/30</td> <td>火</td> <td>書類選考(履歴書・PF) 実技試験・筆記試験</td> <td>書類選考ではどのような点が見られるのか ポートフォリオ制作について、実技試験・筆記試験について</td> <td>オンライン</td> <td>pm</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/20</td> <td>金</td> <td>業界・企業研究</td> <td>外部講師による講演から、業界や仕事を理解する。</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>企業担当者対応</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>10/18</td> <td>金</td> <td>面接対策②(面接、GD)</td> <td>面接・GDで企業は何を見ているのか 面接の種類、オンライン面接の注意点</td> <td>オンライン</td> <td>pm</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/8</td> <td>金</td> <td>ポートフォリオ指導</td> <td>学科別実施</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>企業担当者対応</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12/6</td> <td>金</td> <td>面接対策③</td> <td>面接で話す内容の具体的な準備 よくある質問、想定外の質問、会社への質問など</td> <td>オンライン</td> <td>pm</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>1/10</td> <td>金</td> <td>就活準備(総まとめ)</td> <td>エントリーについて、ES・履歴書について 面接について、早期に就活を進めるメリットについて</td> <td>対面 ギャラリー/他教室</td> <td>am VD pm SD・JD</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>■履修上の注意事項</p> <p>オンラインでの履修は、Macのカメラを必ずONにしてください。</p> <p>動作安定性向上のため、事前にZOOMおよびChromeは起動して、アップデート/再起動をしておいてください。</p> <p>■評価方法</p> <p>授業態度(オンラインの場合、特段の理由がない限りカメラがオフの場合は欠席と見なします)</p> <p>出席率 課題提出</p> <p>■教科書、教材</p> <p>GoogleClassroom経由で適時配布</p> <p>■授業時間以外の学習</p> <p>配付資料による復習</p> <p>■教員紹介</p> <p>国家資格キャリアコンサルタント兼デザイナー(グラフィック、テキスタイル、WEB)、キャリアインストラクター 官庁、化粧品メーカー、アパレル、医療・医薬品メーカー、信用金庫、建設等業務実績とOJT・就職支援多数</p> <p>■その他</p>									月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考	1	4/19	金	業界・職種研究	就職活動のスケジュールの確認、2年生でやっておくべきこと 業界・職種研究(自分の方向性を考え、インターン先を検討する)	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD・JD	2	5/17	金	自己分析・履歴書作成 インターンシップについて	自己分析の方法、履歴書への繋げ方 インターンシップについて(応募方法、インターンに参加する意義)	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD・JD	3	6/21	金	ビジネスマナー・敬語 面接対策①	インターン参加にあたってのビジネスマナーの確認 インターン選考に臨む上での面接対策(面接の基礎知識)	オンライン	pm	4	7/30	火	書類選考(履歴書・PF) 実技試験・筆記試験	書類選考ではどのような点が見られるのか ポートフォリオ制作について、実技試験・筆記試験について	オンライン	pm	5	9/20	金	業界・企業研究	外部講師による講演から、業界や仕事を理解する。	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応	6	10/18	金	面接対策②(面接、GD)	面接・GDで企業は何を見ているのか 面接の種類、オンライン面接の注意点	オンライン	pm	7	11/8	金	ポートフォリオ指導	学科別実施	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応	8	12/6	金	面接対策③	面接で話す内容の具体的な準備 よくある質問、想定外の質問、会社への質問など	オンライン	pm	9	1/10	金	就活準備(総まとめ)	エントリーについて、ES・履歴書について 面接について、早期に就活を進めるメリットについて	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD・JD														
	月日	曜日	授業項目	内容	教室	備考																																																																																					
1	4/19	金	業界・職種研究	就職活動のスケジュールの確認、2年生でやっておくべきこと 業界・職種研究(自分の方向性を考え、インターン先を検討する)	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD・JD																																																																																					
2	5/17	金	自己分析・履歴書作成 インターンシップについて	自己分析の方法、履歴書への繋げ方 インターンシップについて(応募方法、インターンに参加する意義)	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD・JD																																																																																					
3	6/21	金	ビジネスマナー・敬語 面接対策①	インターン参加にあたってのビジネスマナーの確認 インターン選考に臨む上での面接対策(面接の基礎知識)	オンライン	pm																																																																																					
4	7/30	火	書類選考(履歴書・PF) 実技試験・筆記試験	書類選考ではどのような点が見られるのか ポートフォリオ制作について、実技試験・筆記試験について	オンライン	pm																																																																																					
5	9/20	金	業界・企業研究	外部講師による講演から、業界や仕事を理解する。	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応																																																																																					
6	10/18	金	面接対策②(面接、GD)	面接・GDで企業は何を見ているのか 面接の種類、オンライン面接の注意点	オンライン	pm																																																																																					
7	11/8	金	ポートフォリオ指導	学科別実施	対面 ギャラリー/他教室	企業担当者対応																																																																																					
8	12/6	金	面接対策③	面接で話す内容の具体的な準備 よくある質問、想定外の質問、会社への質問など	オンライン	pm																																																																																					
9	1/10	金	就活準備(総まとめ)	エントリーについて、ES・履歴書について 面接について、早期に就活を進めるメリットについて	対面 ギャラリー/他教室	am VD pm SD・JD																																																																																					

各 科 共 通	授 業 科 目 名	担 当 講 師	学 期	午 前 / 午 後	必 修 / 選 択	授 業 形 態	時 間 数																																																																																																									
3 年	就 職 講 座 3	大 岡 歩 夢	前 期 / 後 期 前 半	午 後	必 修	演 習 / 講 義	15																																																																																																									
<p>■ 授 業 内 容</p> <p>就 活 を スムーズ に 進 め る た め の 課 題 を 明 確 に し て 、 課 題 に 応 じ た 対 策 を と る 。 個人 模 擬 面 接 を 通 じ て 、 自 分 自 身 と 志 望 企 業 の 適 性 を す り あ わ せ る 。</p> <p>■ 到 達 目 標</p> <p>内 定 の 早 期 取 得 就 職 活 動 の 具 体 的 な 内 容 の 理 解 と 行 動</p>																																																																																																																
<p>■ 授 業 計 画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>月 日</th> <th>曜 日</th> <th>授 業 項 目</th> <th>内 容</th> <th>教 室</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4/12</td> <td>金</td> <td>面 接 対 策</td> <td>採 用 側 の 視 点 を 理 解 す る / 個 人 模 擬 面 接</td> <td>対 面 ギ ャ ラ リー / 他 教 室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/10</td> <td>金</td> <td>面 接 対 策 と 業 界 職 種 研 究</td> <td>業 界 職 種 研 究 を 見 直 す / 個 人 模 擬 面 接</td> <td>オ ン ラ イ ン</td> <td>pm</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/7</td> <td>金</td> <td>面 接 対 策</td> <td>グ ル ー プ デ ィ ス カ ュ シ ョ ン 復 習 / 個 人 模 擬 面 接</td> <td>対 面 ギ ャ ラ リー / 他 教 室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7/5</td> <td>金</td> <td>面 接 対 策</td> <td>個 人 模 擬 面 接</td> <td>オ ン ラ イ ン</td> <td>pm</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>9/13</td> <td>金</td> <td>面 接 対 策</td> <td>個 人 模 擬 面 接</td> <td>対 面 ギ ャ ラ リー / 他 教 室</td> <td>am VD pm SD,JD</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									月 日	曜 日	授 業 項 目	内 容	教 室	備 考	1	4/12	金	面 接 対 策	採 用 側 の 視 点 を 理 解 す る / 個 人 模 擬 面 接	対 面 ギ ャ ラ リー / 他 教 室	am VD pm SD,JD	2	5/10	金	面 接 対 策 と 業 界 職 種 研 究	業 界 職 種 研 究 を 見 直 す / 個 人 模 擬 面 接	オ ン ラ イ ン	pm	3	6/7	金	面 接 対 策	グ ル ー プ デ ィ ス カ ュ シ ョ ン 復 習 / 個 人 模 擬 面 接	対 面 ギ ャ ラ リー / 他 教 室	am VD pm SD,JD	4	7/5	金	面 接 対 策	個 人 模 擬 面 接	オ ン ラ イ ン	pm	5	9/13	金	面 接 対 策	個 人 模 擬 面 接	対 面 ギ ャ ラ リー / 他 教 室	am VD pm SD,JD	6							7							8							9							10							11							12							13							14						
	月 日	曜 日	授 業 項 目	内 容	教 室	備 考																																																																																																										
1	4/12	金	面 接 対 策	採 用 側 の 視 点 を 理 解 す る / 個 人 模 擬 面 接	対 面 ギ ャ ラ リー / 他 教 室	am VD pm SD,JD																																																																																																										
2	5/10	金	面 接 対 策 と 業 界 職 種 研 究	業 界 職 種 研 究 を 見 直 す / 個 人 模 擬 面 接	オ ン ラ イ ン	pm																																																																																																										
3	6/7	金	面 接 対 策	グ ル ー プ デ ィ ス カ ュ シ ョ ン 復 習 / 個 人 模 擬 面 接	対 面 ギ ャ ラ リー / 他 教 室	am VD pm SD,JD																																																																																																										
4	7/5	金	面 接 対 策	個 人 模 擬 面 接	オ ン ラ イ ン	pm																																																																																																										
5	9/13	金	面 接 対 策	個 人 模 擬 面 接	対 面 ギ ャ ラ リー / 他 教 室	am VD pm SD,JD																																																																																																										
6																																																																																																																
7																																																																																																																
8																																																																																																																
9																																																																																																																
10																																																																																																																
11																																																																																																																
12																																																																																																																
13																																																																																																																
14																																																																																																																
<p>■ 履 修 上 の 注 意 事 項</p> <p>オ ン ラ イ ン で の 履 修 は 、 M a c の カ メ ラ を 必 ず O N I に し て く だ さ い 。 動 作 安 定 性 向 上 の た め 、 事 前 に Z O O M お よ び C h r o m e は 起 動 し て 、 ア ッ プ デ ー ト / 再 起 動 を し て お い て く だ さ い 。</p> <p>■ 評 価 方 法</p> <p>授 業 態 度 (オ ン ラ イ ン の 場 合 、 特 段 の 理 由 が な い 限 り カ メ ラ が オ フ の 場 合 は 欠 席 と 見 な し ま す) 出 席 率 課 題 提 出</p> <p>■ 教 科 書 、 教 材</p> <p>G o o g l e C l a s s r o o m 経 由 で 適 時 配 布</p> <p>■ 授 業 時 間 以 外 の 学 習</p> <p>配 付 資 料 に よ る 復 習</p> <p>■ 教 員 紹 介</p> <p>日 本 印 刷 技 術 協 会 認 定 講 師 、 提 案 型 ウ ェ ブ ア ナ リ ス ト 、 一 般 社 団 法 人 日 本 ウ ェ ブ ア ク セ シ ビ リ テ ィ 協 会 理 事 大 手 建 材 メ ー カ ー 、 大 手 食 品 F C 、 大 手 広 告 代 理 店 、 大 手 家 電 メ ー カ ー 、 大 手 商 社 、 海 外 家 具 メ ー カ ー 、 企 業 研 修 お よ び 業 務 実 績 多 数</p> <p>■ そ の 他</p>																																																																																																																

各科共通	授業科目名	担当講師	学期	午前/午後	必/選	授業形態	時間数																																												
学年共通	課外授業(学校行事)	複数(教職員)	通年	午前・午後	必修	演習	78																																												
<p>■授業内容</p> <p>[前期] 入学式・ガイダンス、研修旅行、学生作品展 [後期] 山脇祭、卒業・進級制作展、卒業式など</p> <p>■到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間力向上の為に学校行事等を通して、「コミュニケーション能力」、「主体性」、「チャレンジ精神」、「協調性」などを養う。 ・行事の目的を理解し、その達成のための行動がとれる。 ・本物の芸術文化に触れ、その良さを理解する。 ・様々な価値観を認めたり、視野を広げることで、より深い創造的な自分の見方や制作に発展させていく。 																																																			
<p>■授業計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日</th> <th>時間</th> <th>授業項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/5・8・9</td> <td>15h</td> <td>入学式・ガイダンス・新年度準備(健康診断)</td> <td>ガイダンスでは各科学年合同の施設案内や自己紹介など。</td> </tr> <tr> <td>5/30・31</td> <td>12h</td> <td>研修旅行</td> <td>1泊2日の研修旅行。美術館など各科関連施設の見学や体験。</td> </tr> <tr> <td>7/26</td> <td>6h</td> <td>学生作品展</td> <td>各教室や設備などの大掃除。学生作品展やコリドーギャラリーの展示作業。</td> </tr> <tr> <td>9/2～9/11</td> <td>30h</td> <td>山脇祭</td> <td>学生主体によるイベントと作品展示。準備から実施、片付けまで。</td> </tr> <tr> <td>2/19～2/27</td> <td>12h</td> <td>卒業・進級制作展</td> <td>展示作業から実施、片付けまで。展示ガイド当番(プレゼンテーション)。初日はオープニングセレモニー、片付け日は表彰式の実施。</td> </tr> <tr> <td>3/15</td> <td>3h</td> <td>卒業式</td> <td>卒業式後は各科学年合同のホームルームなど。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								日	時間	授業項目	内容	4/5・8・9	15h	入学式・ガイダンス・新年度準備(健康診断)	ガイダンスでは各科学年合同の施設案内や自己紹介など。	5/30・31	12h	研修旅行	1泊2日の研修旅行。美術館など各科関連施設の見学や体験。	7/26	6h	学生作品展	各教室や設備などの大掃除。学生作品展やコリドーギャラリーの展示作業。	9/2～9/11	30h	山脇祭	学生主体によるイベントと作品展示。準備から実施、片付けまで。	2/19～2/27	12h	卒業・進級制作展	展示作業から実施、片付けまで。展示ガイド当番(プレゼンテーション)。初日はオープニングセレモニー、片付け日は表彰式の実施。	3/15	3h	卒業式	卒業式後は各科学年合同のホームルームなど。																
日	時間	授業項目	内容																																																
4/5・8・9	15h	入学式・ガイダンス・新年度準備(健康診断)	ガイダンスでは各科学年合同の施設案内や自己紹介など。																																																
5/30・31	12h	研修旅行	1泊2日の研修旅行。美術館など各科関連施設の見学や体験。																																																
7/26	6h	学生作品展	各教室や設備などの大掃除。学生作品展やコリドーギャラリーの展示作業。																																																
9/2～9/11	30h	山脇祭	学生主体によるイベントと作品展示。準備から実施、片付けまで。																																																
2/19～2/27	12h	卒業・進級制作展	展示作業から実施、片付けまで。展示ガイド当番(プレゼンテーション)。初日はオープニングセレモニー、片付け日は表彰式の実施。																																																
3/15	3h	卒業式	卒業式後は各科学年合同のホームルームなど。																																																
<p>■履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各行事の達成までに、主体性・協調性を持ちながら準備を行う。 ・積極的に学年や科を越えたコミュニケーションを図る。 ・学校外の活動では、課外授業の意識を持ち品位ある行動をとる。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート、出席状況など <p>■その他</p>																																																			